

対象校No. 67

注4

学校コード F116110105312

注3

設置年度

令和

6年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

事前相談

注2

富山大学 経済学部 経済経営学科

【事前相談】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正後大学設置基準適用)

国立大学法人富山大学
令和6年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務部 企画評価課

職名・氏名 事務職員 柳瀬 かおり

電話番号 076-445-6241

(夜間) 076-445-6241

e-mail sokikaku@adm.u-toyama.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「○○大学大学院 ・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) ○○大学 △△学部 □□学科
(旧名称: ◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
 - 大学の設置の場合: 「○○大学」
 - 学部の設置の場合: 「○○大学 △△学部」
 - 学部の学科の設置の場合: 「○○大学 △△学部 □□学科」
 - 短期大学の学科の設置の場合: 「○○短期大学 △△学科」
 - 大学院設置の場合: 「○○大学大学院」
 - 大学院の研究科の設置の場合: 「○○大学大学院 ○○研究科」
 - 大学院の研究科の専攻の設置等の場合: 「○○大学大学院 ○○研究科 ○○専攻(修士課程)」
 - 通信教育課程の開設の場合: 「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html
- 4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

経済学部

ページ	<経済経営学科>
3	1. 調査対象大学等の概要等
8	2. 授業科目の概要
17	3. 施設・設備の整備状況、経費
18	4. 既設大学等の状況
20	5. 教育研究実施組織の状況
57	6. 附帯事項等に対する履行状況等
58	7. その他全般的事項

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

国立大学法人 富山大学

(2) 大 学 名

富山大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒930-8555
富山県富山市五福3190番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理事長	(フリガナ) 氏 名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏 名 (現職就任年月)	
学 長	(サイトウ シゲル) 斎藤 滋 (平成31年4月)		
学 部 長	(モリグチ タケヒコ) 森口 毅彦 (令和3年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。

(例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)

令和6年度に報告する内容 → (6)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。

- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位
（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和6年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
経済学部 経済経営学科 学士 (経済経営学)	経済学関係	4 年	335 人	2年次 0 人 3年次 10 人 4年次 0 人	1,360 人	-	

- （注）定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）又は（その2の2））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。）

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の学期区分について	収容定員充足率	収容定員充足率（控除後）	備考
		春季入学	その他学期														
		人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人				
A 入学定員		-	-	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	335	[若干名]				
志願者数		-	-	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	1,163	-				
受験者数		-	-	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	781	-				
合格者数		-	-	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	377	-				
B 入学者数		-	-	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	339	-				
入学定員超過率 B/A		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.01					

- （注）報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- 転入生は記入しないでください。
- []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
- 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。
- （春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。）
- 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
- 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和7年度開設用）IV. 33収容定員の充足状況」をご確認ください。
- なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- 「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
- なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
- 「(5) -② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期											
1年次	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	339	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[0]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
2年次			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
			(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
3年次				-	-	-	-	-	-	-	-	-	
				[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
				(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
4年次					-	-	-	-	-	-	-	-	
					[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
					(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	339	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[0]	-	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	

- (注)
- ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
 - ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数	うち留学生数	
令和元年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
令和6年度	339 人	0 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	0 人	0 人	
合計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
- (記入項目例)・就学意欲の低下　　・学力不足　　・他の教育機関への入学・転学　　・海外留学
 ・就職　　・学生個人の心身に関する事情　　・家庭の事情　　・除籍　　・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{339} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

＜経済学部 経済経営学科＞

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

【令和6年度】

科目区分	授業科目的名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					の基幹教員(～助教以外)を除く教員数
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養教育科目	人文科学系	哲学のすすめ	1前・後	○		2						1
		人間と倫理	1前・後	○		2						1
		こころの科学	1前・後	○		2						1
		現代と教育	1前・後	○		2						1
		日本の歴史と社会	1前・後	○		2						1
		東洋の歴史と社会	1前・後	○		2						1
		西洋の歴史と社会	1前・後	○		2						1
		日本文学	1前・後	○		2						1
		外国文学	1前・後	○		2						1
		言語と文化	1前・後	○		2						1
		音楽	1前・後	○		2						1
		美術	1前・後	○		2						1
		美術表現A	1前・後	○		2						1
		美術表現B	1前・後	○		2						1
		言語表現	1前・後	○		2						1
		治療の文化史	1前・後	○		2						1
		異文化間コミュニケーション	1前・後	○		2						1
		異文化理解	1前・後	○		2						1
	小計(18科目)		—	0	36	0	0	0	0	0	0	17
社会科学系	社会科学系	現代社会論	1前・後	○		2						1
		日本国憲法	1前・後	○		2						1
		国家と市民	1前・後	○		2						1
		経済生活と法	1前・後	○		2						1
		市民生活と法	1前・後	○		2						1
		はじめての経済学	1前・後	○		2						1
		産業と経済を学ぶ	1前・後	○		2						1
		経営資源のとらえ方	1前・後	○		2						1
		市場と企業の関係	1前・後	○		2						1
		地域の経済と社会・文化	1前・後	○		2						1
	小計(10科目)		—	0	20	0	5	2	0	0	0	3
自然科学系	自然科学系	自然科学への扉—A	1前・後	○		2						1
		自然科学への扉—B	1前・後	○		2						1
		自然科学への扉—C	1前・後	○		2						1
		科学技術への扉—A	1前・後	○		2						1
		科学技術への扉—B	1前・後	○		2						1
		生命の世界	1前・後	○		2						1
		社会と情報の数理	1前・後	○		2						1
		デザインと生物	1前・後	○		2						1
	小計(8科目)		—	0	16	0	0	1	0	0	0	7
医療・健康科学系	医療・健康科学系	医療心理学	1前・後	○		2						1
		認知科学	1前・後	○		2						1
		脳科学入門	1前・後	○		2						1
		免疫学入門	1前・後	○		2						1
		身近な医学	1前・後	○		2						1
		障害とアクセシビリティ	1前・後	○		2						1
		医療と地域社会	1前・後	○		2						1
	小計(7科目)		—	0	14	0	0	0	0	0	0	5
総合科目系	総合科目系	環境	1前・後	○		2						1
		ジェンダー	1前・後	○		2						1
		技術と社会	1前・後	○		2						1
		現代文化	1前・後	○		2						1
		人権と福祉	1前・後	○		2						1
		環日本海	1前・後	○		2						1
		科学と社会	1前・後	○		2						1
		アカデミック・デザイン	1前・後	○		2						1
		ビジネス思考	1前・後	○		2						1
		データサイエンスの世界	1前・後	○		1						1
		データサイエンスの実践	1前・後	○		1						1
		教養としての都市デザイン学	1前・後	○		2						1
		SDGs入門	1前・後	○		2						1
		薬都とやま学	1前・後	○		2						1
		平和学入門	1前・後	○		2						1
		東アジア共同体論-政治・経済・文化-	1前・後	○		2						1
		富山から考える震災・復興学	1前・後	○		2						1
		環境と安全管理	1前・後	○		2						1
		万葉学	1前・後	○		2						1
		日本海学	1前・後	○		2						1
		富山大学学	1前・後	○		2						1

科目区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数		専任教員等の配置					専任教員等の配置	
			必 修	選 报	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
教養教育科目	とやま地域学	1前・後	2								1
	時事的問題	1前・後	2		1						1
	災害救援ボランティア論	1前・後	2								1
	感性をはぐくむ	1前・後	2								1
	日本事情／芸術文化	1前・後	2								1
	日本事情／自然社会	1前・後	2								1
	富山学	1前・後	2								1
	地域ライフプラン	1前・後	2								1
	産業観光学	1前・後	2								1
	富山のものづくり概論	1前・後	2								1
	富山の地域づくり	1前・後	2		1						1
	小計(32科目)	—	0	62	0	4	1	0	0	0	22
外国語系	ESP I (Level-based)	1前	1								1
	ESP II (Interest-based)	1後	1								1
	基盤英語 I	1前	1								1
	基盤英語 II	1後	1								1
	ドイツ語基礎 I	1前	1								1
	ドイツ語基礎 II	1後	1								1
	ドイツ語コミュニケーション I	1前	1								1
	ドイツ語コミュニケーション II	1後	1								1
	フランス語基礎 I	1前	1								1
	フランス語基礎 II	1後	1								1
	フランス語コミュニケーション I	1前	1								1
	フランス語コミュニケーション II	1後	1								1
	中国語基礎 I	1前	1								1
	中国語基礎 II	1後	1								1
	中国語コミュニケーション I	1前	1								1
	中国語コミュニケーション II	1後	1								1
	朝鮮語基礎 I	1前	1								1
	朝鮮語基礎 II	1後	1								1
	朝鮮語コミュニケーション I	1前	1								1
	朝鮮語コミュニケーション II	1後	1								1
	ロシア語基礎 I	1前	1								1
	ロシア語基礎 II	1後	1								1
	ロシア語コミュニケーション I	1前	1								1
	ロシア語コミュニケーション II	1後	1								1
	日本語リテラシー I	1前	1								1
	日本語リテラシー II	1後	1								1
	日本語コミュニケーション I	1前	1								1
	日本語コミュニケーション II	1後	1								1
	発展多言語演習ドイツ語	2前	1								1
	発展多言語演習中国語	2前	1								1
	日本語コミュニケーション III	2前	1								1
	日本語／専門研究	2前	1								1
	小計(32科目)	—	4	26	2	0	0	0	0	0	13
保健体育系	健康・スポーツ／講義	1後	1								1
	健康・スポーツ／実技	1前	1								1
情報処理系	小計(2科目)	—	2	0	0	0	0	0	0	0	1
	情報処理	1前	2								4
	応用情報処理	1後	2								1
	小計(2科目)	—	2	2	0	0	0	0	0	0	4
学部共通科目	2年次ゼミナールー I	2①②	2			21	15	3	4		
	2年次ゼミナールー II	2③④	2			21	15	3	4		
	3年次ゼミナールー I	3①②	2			21	15	3	4		
	3年次ゼミナールー II	3③④	2			21	15	3	4		
	4年次ゼミナールー I	4①②	2			21	15	3	4		
	4年次ゼミナールー II	4③④	2			21	15	3	4		
	卒業論文	4③④	2			21	15	3	4		
	小計(7科目)	—	14	0	0	21	15	3	4	0	0
	経済学入門	1①②	2			2					
	経営学入門	1①②	2			8	3	1	2		
入門科目	法学入門	1①②	2			2					
	経済データサイエンス入門	1①②	2			1					
	小計(4科目)	—	8	0	0	11	6	1	2	0	0
	小計(4科目)	—	0	8	0	1	3	1	0	0	0
基礎科目	ミクロ経済学入門	1③④	2			1					
	マクロ経済学入門	1③④	2			1					
	会計学入門	1③④	2			1					
	経営学総論	1③④	2			1					
経済系基礎科目	小計(4科目)	—	0	8	0	1	3	1	0	0	0
	ミクロ経済学-A	2①③	2			1					
	ミクロ経済学-B	2②④	2			1					
	マクロ経済学-A	2①③	2			1					
	マクロ経済学-B	2②④	2			1					
	民法総則-A	2①③	2			1					
	民法総則-B	2②④	2			1					
	小計(6科目)	—	0	12	0	1	2	0	0	0	0

科目区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数		専任教員等の配置					専任教員等の配置	
			必 修	選 报	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
基盤科目 経営系基盤科目	経営管理論	2①③		2				1	1		1
	組織行動論	2①③		2				1	1		
	比較経営論	2②④		2		2					
	経営情報論	2②④		2		1		1			
	財務会計論	2①③		2		1			1		
	商学総論	2②④		2		3			1		
	小計(6科目)	—	0	12	0	6	1	1	2	0	1
	統計学-A	2①③		2		1					
	統計学-B	2②④		2		1					
	社会学総論-A	2①③		2		2					
データサイエンス系基盤科目	社会学総論-B	2②④		2		2					
	知的財産法	2①③		2		2			1		
	データサイエンスのための数学-A	2①③		2		1					
	データサイエンスのための数学-B	2②④		2		1					
	小計(7科目)	—	0	14	0	4	0	0	1	0	0
プログラム基礎科目 公共政策プログラム基礎科目	社会経済学概論	2・3①②		2			1				
	経済史総論-A	2・3①③		2		1					
	経済史総論-B	2・3②④		2		1					
	国際経済学-A	2・3①③		2						1	
	国際経済学-B	2・3②④		2					1		
	地域経済論-A	2・3①③		2		1					
	地域経済論-B	2・3②④		2		1					
	財政学-A	2・3①③		2						1	
	財政学-B	2・3②④		2					1		
	国際マクロ経済学-A	2・3①③		2					1		
	国際マクロ経済学-B	2・3②④		2					1		
	憲法-A	2・3①③		2			1				
	憲法-B	2・3②④		2		1					
	刑法総論-A	2・3①③		2		1					
	刑法総論-B	2・3②④		2		1					
	会社法-A	2・3①③		2		1					
	会社法-B	2・3②④		2		1					
	小計(17科目)	—	0	34	0	1	5	0	0	0	1
企業経営プログラム基礎科目 データサイエンス基礎科目	経営組織論-A	2・3①③		2			1				
	経営組織論-B	2・3②④		2		1					
	人的資源管理-A	2・3①③		2		1					
	人的資源管理-B	2・3②④		2		1					
	マーケティング・マネジメント論-A	2・3①③		2		1					
	マーケティング・マネジメント論-B	2・3②④		2		1					
	消費者行動論-A	2・3①③		2		1					
	消費者行動論-B	2・3②④		2		1					
	流通論-A	2・3①③		2					1		
	流通論-B	2・3②④		2					1		
	貿易論-A	2・3①③		2		1					
	貿易論-B	2・3②④		2		1					
	簿記論-A	2・3①③		2			1				
	簿記論-B	2・3②④		2		1					
	原価計算論-A	2・3①③		2			1				
	原価計算論-B	2・3②④		2		1					
	情報システム論-A	2・3①③		2		1					
	情報システム論-B	2・3②④		2		1					
	経営戦略論-A	2・3①③		2		3	1				
	経営戦略論-B	2・3②④		2		3	1				
	小計(20科目)	—	0	40	0	5	3	0	1	0	0
経済データサイエンスプログラム基礎科目	計量経済学-A	2・3①③		2		1					
	計量経済学-B	2・3②④		2		1					
	金融機関論	2・3①③		2		1					
	金融論I-A	2・3①③		2		1					
	金融論I-B	2・3②④		2		1					
	社会保障論-A	2・3①③		2		1					
	社会保障論-B	2・3②④		2		1					
	政治経済学-A	2・3①③		2				1			
	政治経済学-B	2・3②④		2			1				
	社会調査の基礎	2・3①③		2		1					
	地域社会学	2・3①③		2		1					
	産業社会学	2・3②④		2		1					
	データ分析の基礎	2・3①③		2		1					
	オペレーションズ・リサーチ-A	2・3①③		2		1					
	オペレーションズ・リサーチ-B	2・3②④		2		1					
	経営数学-A	2・3①③		2				1			
	経営数学-B	2・3②④		2			1				
	プログラミング演習-A	2・3①③		2		1					
	プログラミング演習-B	2・3②④		2		1					
	小計(19科目)	—	0	38	0	7	1	1	0	0	0

科目区分	授業科目的名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					専任教員等の配置割合
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
ブローグラム発展科目	環境経済学-A	3・4①③	2								1
	環境経済学-B	3・4②④	2			1					1
	経済情報処理	3・4①③	2								
	日本経済史-A	3・4①③	2				1				
	日本経済史-B	3・4②④	2				1				
	西洋経済史-A	3・4①③	2				1				
	西洋経済史-B	3・4②④	2				1				
	地方財政論-A	3・4①③	2			1					
	地方財政論-B	3・4②④	2			1					
	労働経済論-A	3・4①③	2			1					
	労働経済論-B	3・4②④	2			1					
	刑法各論-A	3・4①③	2				1				
	刑法各論-B	3・4②④	2				1				
	憲法統治機構論	3・4①③	2				1				
	物権法-A	3・4①③	2			1					
	物権法-B	3・4②④	2			1					
	債権法I(総論)-A	3・4①③	2			1					
	債権法I(総論)-B	3・4②④	2			1					
	債権法II(各論)-A	3・4①③	2			1					
	債権法II(各論)-B	3・4②④	2			1					
	行政法-A	3・4①③	2			1					
	行政法-B	3・4②④	2			1					
	税法-A	3・4①③	2			1					
	税法-B	3・4②④	2			1					
	刑事訴訟法-A	3・4①③	2			1					
	刑事訴訟法-B	3・4②④	2			1					
	政治学-A	3・4①③	2			1					
	政治学-B	3・4②④	2			1					
	環境法-A	3・4①③	2			1					
	環境法-B	3・4②④	2			1					
	家族法	3・4①③	2			2	1				
	民事訴訟法-A	3・4①③	2			2	1				
	民事訴訟法-B	3・4②④	2			2	1				
	民事執行法	3・4①③	2			2	1				
	商法総則・商行為法-A	3・4①③	2			2	1				
	商法総則・商行為法-B	3・4②④	2			2	1				
	国際私法	3・4①③	2			2	1				
	小計(37科目)	—	0	74	0	5	8	0	0	0	1
企業経営プログラム発展科目	日本産業論-A	3・4①③	2								1
	日本産業論-B	3・4②④	2								1
	アジア経済経営論-A	3・4①③	2			1					
	アジア経済経営論-B	3・4②④	2			1					
	国際経営論-A	3・4①③	2			1					
	国際経営論-B	3・4②④	2			1					
	国際マーケティング論	3・4①③	2			1					
	会計情報システム論-A	3・4①③	2			1					
	会計情報システム論-B	3・4②④	2			1					
	経営システム-A	3・4①③	2				1				
	経営システム-B	3・4②④	2				1				
	流通史	3・4①③	2				1				
	管理会計論-A	3・4①③	2			1					
	管理会計論-B	3・4②④	2			1					
	コストマネジメント	3・4①③	2				1				
	金融取引法-A	3・4①③	2			1					
	金融取引法-B	3・4②④	2			1					
	労働法 I-A	3・4①③	2								1
	労働法 I-B	3・4②④	2								1
	労働法 II-A	3・4①③	2								1
	労働法 II-B	3・4②④	2								1
	経済・経営と法-A	3・4①③	2			1					
	経済・経営と法-B	3・4②④	2			1					
	小計(23科目)	—	0	46	0	8	1	1	1	0	3
履修科目	応用計量経済学-A	3・4①③	2						1		
	応用計量経済学-B	3・4②④	2						1		
	金融論II-A	3・4①③	2				1				
	金融論II-B	3・4②④	2				1				
	証券市場論	3・4①③	2			1					
	経済成長論-A	3・4①③	2					1			
	経済成長論-B	3・4②④	2					1			
	質的調査法	3・4①③	2			1					
	機械学習概論	3・4①③	2			1					
	ゲーム分析-A	3・4①③	2			1					
	ゲーム分析-B	3・4②④	2			1					
	調査データ解析-A	3・4①③	2			1					

科目区分	授業科目的名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					のを除く 基幹教員・助 手以外
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
ブローグラム発展科目	環境経済学-A	3-4①③	○	2								1
	環境経渌学-B	3-4②④	○	2								1
	経済情報処理	3-4①③	○	2			1					
	日本経済史-A	3-4①③	○	2				1				
	日本経済史-B	3-4②④	○	2				1				
	西洋経済史-A	3-4①③	○	2				1				
	西洋経済史-B	3-4②④	○	2				1				
	地方財政論-A	3-4①③	○	2			1					
	地方財政論-B	3-4②④	○	2			1					
	労働経済論-A	3-4①③	○	2			1					
	労働経済論-B	3-4②④	○	2			1					
	刑法各論-A	3-4①③	○	2				1				
	刑法各論-B	3-4②④	○	2				1				
	憲法統治機構論	3-4①③	○	2				1				
	物権法-A	3-4①③	○	2			1					
	物権法-B	3-4②④	○	2			1					
	債権法I(総論)-A	3-4①③	○	2				1				
	債権法I(総論)-B	3-4②④	○	2				1				
	債権法II(各論)-A	3-4①③	○	2			1					
	債権法II(各論)-B	3-4②④	○	2			1					
	行政法-A	3-4①③	○	2			1					
	行政法-B	3-4②④	○	2			1					
	税法-A	3-4①③	○	2			1					
	税法-B	3-4②④	○	2			1					
	刑事訴訟法-A	3-4①③	○	2				1				
	刑事訴訟法-B	3-4②④	○	2				1				
	政治学-A	3-4①③	○	2			1					
	政治学-B	3-4②④	○	2			1					
	環境法-A	3-4①③	○	2			1					
	環境法-B	3-4②④	○	2			1					
	家族法	3-4①③	○	2			2	1				
	民事訴訟法-A	3-4①③	○	2							1	
	民事訴訟法-B	3-4②④	○	2							1	
	民事執行法	3-4①③	○	2							1	
	商法総則・商行為法-A	3-4①③	○	2				1				
	商法総則・商行為法-B	3-4②④	○	2				1				
	国際私法	3-4①③	○	2							1	
	小計(37科目)	—	—	0	74	0	5	7	0	0	0	2
企業経営プログラム発展科目	日本産業論-A	3-4①③	○	2								1
	日本産業論-B	3-4②④	○	2								1
	アジア経済経営論-A	3-4①③	○	2			1					
	アジア経済経営論-B	3-4②④	○	2			1					
	国際経営論-A	3-4①③	○	2			1					
	国際経営論-B	3-4②④	○	2			1					
	国際マーケティング論	3-4①③	○	2			1					
	会計情報システム論-A	3-4①③	○	2							1	
	会計情報システム論-B	3-4②④	○	2							1	
	経営システム-A	3-4①③	○	2				1				
	経営システム-B	3-4②④	○	2			1					
	流通史	3-4①③	○	2							1	
	管理会計論-A	3-4①③	○	2			1					
	管理会計論-B	3-4②④	○	2			1					
	コストマネジメント	3-4①③	○	2			1					
	金融取引法-A	3-4①③	○	2							1	
	金融取引法-B	3-4②④	○	2							1	
	労働法 I-A	3-4①③	○	2							1	
	労働法 I-B	3-4②④	○	2							1	
	労働法 II-A	3-4①③	○	2							1	
	労働法 II-B	3-4②④	○	2							1	
	経済・経営と法-A	3-4①③	○	2							1	
	経済・経営と法-B	3-4②④	○	2							1	
	小計(23科目)	—	—	0	46	0	4	1	1	1	0	4
履修科目	応用計量経済学-A	3-4①③	○	2						1		
	応用計量経済学-B	3-4②④	○	2						1		
	金融論II-A	3-4①③	○	2				1				
	金融論II-B	3-4②④	○	2			1					
	証券市場論	3-4①③	○	2								
	経済成長論-A	3-4①③	○	2					1			
	経済成長論-B	3-4②④	○	2				1				
	質的調査法	3-4①③	○	2				1				
	機械学習概論	3-4①③	○	2				1				
	ゲーム分析-A	3-4①③	○	2				1				
	ゲーム分析-B	3-4②④	○	2				1				
	調査データ解析-A	3-4①③	○	2				1				

科目区分	授業科目的名称	配 当 年 次	単位数		専任教員等の配置					専任教員等の配置	
			必 修	選 报	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教		
プログラム発展科目	調査データ解析-B	3・4②④		2		1					
	経済情報技術概論	3・4①③		2		1					
	地理情報システム演習-A	3・4①③		2		1					
	地理情報システム演習-B	3・4②④		2		1					
	ビジネスデータ分析-A	3・4①③		2		1					
	ビジネスデータ分析-B	3・4②④		2		1					
	AI社会と法	3・4①③		2					1		
	小計(19科目)	—	0	38	0	6	1	1	2	0	0
	地方創生環境学-A	2③		1		1					2
	地方創生環境学-B	2④		1		1					2
文理融合科目	文理融合データサイエンス	2②		1		2					1
	サステナビリティ学	2④		1		2	1				4
	小計(4科目)	—	0	4	0	5	1	0	0	0	7
その他科目	スタートアップゼミナール	1①②		2		21	15	3	4		
	初年次ゼミナール	1③④		2		21	15	3	4		
	基礎数学	1①②		2		1					
	リテラシー・特殊講義	2・3・4①②③④		2		1					
	キャリア・デザイン・特殊講義	2・3・4①②③④		2		1					
	地域ビジネス特殊講義	2・3・4①②③④		2		1					
	地域ビジネス特殊演習	2・3・4①②③④		2		1					
	地域政策特殊講義	2・3・4①②③④		2		1					
	地域政策特殊演習	2・3・4①②③④		2		1					
	データサイエンス特殊講義	2・3・4①②③④		2		1					
	データサイエンス特殊演習	2・3・4①②③④		2		1					
	インターネットシップ I	3④		1		1					
	インターネットシップ II	3④		2		1					
	キャリアアシスタディ	1・2①②③④		1		1					
	外国書講読 I	2・3①③		2		1					
	外国書講読 II	2・3②④		2		1					
	全学横断PBL	3②		1							6
	小計(17科目)	—	0	31	0	21	15	3	4	0	6
合計(305科目)			—	30	527	2	21	15	3	4	81

卒業要件及び履修方法

以下の要件を含む、128単位以上を修得すること。

1. 教養教育科目 24単位以上を修得すること

- ・必修科目8単位
- ・選択科目は以下①、②の要件単位を含め、16単位以上
(ただし、地域志向科目1科目2単位以上を必ず含むこと。)
 - ①人文科学系から4単位以上、自然科学系又は医療・健康科学系から4単位以上、総合科目系から2単位以上、外国語系から4単位以上を履修する。
 - ②①に加え、「人文科学系、社会科学系、自然科学系、医療・健康科学系、総合科目系」から2単位以上を履修する。

2. 専門科目 104単位以上を修得すること。

- ・学部共通科目 14単位
- ・入門科目 8単位
- ・以下①～⑧の要件単位を82単位以上
(ただし、①～⑤の要件単位を含めること。)
 - ①共通基盤科目 6単位以上
 - ②基盤科目 18単位以上(以下の系からそれぞれ6単位以上修得すること)
 - 経済系基盤科目
 - 経営系基盤科目
 - データサイエンス系基盤科目
 - ③自プログラム基礎科目から12単位以上
 - ④自プログラム発展科目から12単位以上
 - ⑤他プログラムの基礎科目・発展科目から6単位以上
 - ⑥文理融合科目
 - ⑦その他科目
 - ⑧自由選択科目として、教養教育科目及び他学部専門科目(10単位まで)

科目区分	授業科目的名称	配 当 年 次	単位数		基幹教員等の配置					の基幹教員等の配置 を除く助手以外	
			必 修	選 报	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教		
プログラム発展科目	調査データ解析-B	3・4②④	○	2		1					
	経済情報技術概論	3・4①③	○	2		1					
	地理情報システム演習-A	3・4①③	○	2		1					
	地理情報システム演習-B	3・4②④	○	2		1					
	ビジネスデータ分析-A	3・4①③	○	2		1					
	ビジネスデータ分析-B	3・4②④	○	2		1					
	AI社会と法	3・4①③	○	2		1					
	小計(19科目)	—	0	38	0	6	1	1	2	0	0
	地方創生環境学-A	2③	○	1		1					3
	地方創生環境学-B	2④	○	1		1					3
文理融合科目	文理融合データサイエンス	2②	○	1		2					1
	サステナビリティ学	2④	○	1		2	1				4
	小計(4科目)	—	0	4	0	4	1	0	0	0	8
その他科目	スタートアップゼミナール	1①②	○	2		21	15	3	4		
	初年次ゼミナール	1③④	○	2		21	15	3	4		
	基礎数学	1①②	○	2		1					
	リテラシー・特殊講義	2・3・4①②③④	○	2		1					
	キャリア・デザイン・特殊講義	2・3・4①②③④	○	2		1					
	地域ビジネス特殊講義	2・3・4①②③④	○	2		1					
	地域ビジネス特殊演習	2・3・4①②③④	○	2		1					
	地域政策特殊講義	2・3・4①②③④	○	2		1					
	地域政策特殊演習	2・3・4①②③④	○	2		1					
	データサイエンス特殊講義	2・3・4①②③④	○	2		1					
	データサイエンス特殊演習	2・3・4①②③④	○	2		1					
	インターネットシップ I	3④	○	1		1					
	インターネットシップ II	3④	○	2		1					
	キャリアアシスタディ	1・2①②③④	○	1		1					
	外国書講読 I	2・3①③	○	2		1					
	外国書講読 II	2・3②④	○	2		1					
	全学横断PBL	3②	○	1							6
	小計(17科目)	—	0	31	0	12	6	0	4	0	6
合計(305科目)			—	30	527	2	20	14	4	7	0
卒業要件及び履修方法											

以下の要件を含む、128単位以上を修得すること。

1. 教養教育科目 24単位以上を修得すること

- ・必修科目8単位
- ・選択科目は以下①、②の要件単位を含め、16単位以上
(ただし、地域志向科目1科目2単位以上を必ず含むこと。)
 - ①人文科学系から4単位以上、自然科学系又は医療・健康科学系から4単位以上、総合科目系から2単位以上、外国語系から4単位以上を履修する。
 - ②①に加え、「人文科学系、社会科学系、自然科学系、医療・健康科学系、総合科目系」から2単位以上を履修する。

2. 専門科目 104単位以上を修得すること。

- ・学部共通科目 14単位
- ・入門科目 8単位
- ・以下①～⑧の要件単位を82単位以上
(ただし、①～⑤の要件単位を含めること。)
 - ①共通基盤科目 6単位以上
 - ②基盤科目 18単位以上(以下の系からそれぞれ6単位以上修得すること)
 - 経済系基盤科目
 - 経営系基盤科目
 - データサイエンス系基盤科目
 - ③自プログラム基礎科目から12単位以上
 - ④自プログラム発展科目から12単位以上
 - ⑤他プログラムの基礎科目・発展科目から6単位以上
 - ⑥文理融合科目
 - ⑦その他科目
 - ⑧自由選択科目として、教養教育科目及び他学部専門科目(10単位まで)

- (注)
 - ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
 - なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準（令和4年10月1日施行前）に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等（令和4年10月1日施行）の適用以前については、改正前様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「基幹教員等の配置」欄は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等の配置」としてください。
 - ・ 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員（助手を除く）」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員（助手を除く）」としてください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て（基幹教員（大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」以外の教員（助手を除く））（改正後大学設置基準等の適用以前は兼任・兼担教員）が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。
 - その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等（令和4年10月1日施行前）に基づき、対象学部等を設置している場合、「認可時又は届出時」の「主要授業科目」欄は削除し、「基幹教員等の配置」欄は「専任教員等の配置」、「基幹教員以外の教員（助手を除く）」欄は「兼任・兼担」としてください。その上で、各年度については、「基幹教員（大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」以外の教員（助手を除く）」）」数との比較において変更となっている箇所、「基幹教員以外の教員（助手を除く）（大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員以外の教員（助手を除く）」）」数は、認可時又は届出時の「兼任・兼担」数との比較において変更となっている箇所を太字の赤字としてください。
 - （専任教員から基幹教員に変更したことをもって太字の赤字とする必要はありません。）

- ・履修希望者がいなかったために未開講となつた科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
- ・1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
- ・不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
- ・専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
- ・指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。
その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。
新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に（新）又は（旧）と追記してください。
(例：記載順) 【認可時又は届出時】→【令和6年度】(新)→【令和5年度】(新)→【令和4年度】→【令和3年度】→【令和6年度】(旧)→【令和5年度】(旧)

(1) -②授業科目表に関する変更内容

【令和6年度】

- ・令和6年度より改正後大学設置基準（令和4年10月1日施行）を適用。
- ・教養教育科目的見直しに伴い、「日本国憲法」「国家と市民」「社会と情報の数理」「地域ライフプラン」の教員配置を変更。
- ・専門科目担当教員の採用及び退職等に伴い、「2年次ゼミナールーI」「2年次ゼミナールーII」「3年次ゼミナールーI」「3年次ゼミナールーII」「4年次ゼミナールーI」「4年次ゼミナールーII」「卒業論文」「経営学入門」「地方創生環境学-A」「地方創生環境学-B」の教員配置を変更。
- ・専門教育担当教員の退職に伴い、「民事訴訟法-A」「民事訴訟法-B」「民事執行法」「国際私法」「金融取引法-A」「金融取引法-B」「経済・経営と法-A」「経済・経営と法-B」の教員配置を変更。
- ・専門科目担当教員の変更に伴い、「経済学入門」「経営学入門」「法学入門」「経済データサイエンス入門」「ミクロ経済学入門」「マクロ経済学入門」「スタートアップゼミナール」「初年次ゼミナール」の教員配置を変更。

- (注) 2 (1) -① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、基幹教員等の配置の変更、主要授業科目の変更、授業科目名の変更、新規科目的追加など）を箇条書きで記入してください。
変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・変更内容には、授業科目的未開講や廃止については記入しないでください。また、改正後大学設置基準（令和4年10月1日施行）の適用により、専任教員から基幹教員に変更した場合（例：「専任教員 教授1」から「基幹教員 教授1」に変更）や、兼任・兼担教員から基幹教員以外の教員に変更した場合（例：「兼任教員1」から「基幹教員以外の教員1」に変更）については、記入しないでください。
 - ・不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
18 科目	281 科目	2 科目	301 科目	18 科目 [0]	281 科目 [0]	2 科目 [0]	301 科目 [0]	

- (注)
 - ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。 (記入例：1科目減の場合：△1)
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注)
 - ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注)
 - ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注)
 - ・ 授業科目を未開講又は廃止したことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（3）と廃止科目（4）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（A）}} = \frac{0}{301} = \boxed{0\%}$$

- (注) · 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
· 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（3）未開講科目」と「（4）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区分		内 容					備考	
(1) 校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計			
	校舎敷地	623,443 m ²	— m ²	— m ²	623,443 m ²			
	その他	90,179 m ²	— m ²	— m ²	90,179 m ²			
	合 計	713,622 m ²	— m ²	— m ²	713,622 m ²			
(2) 校舎		専用	共用	共用する他の学校等の専用	計		用途変更のため (6)	
		228,457 230,943 m ² (228,457 230,943 m ²)	- m ² (- m ²)	- m ² (- m ²)	228,457 230,943 m ² (228,457 230,943 m ²)			
(3) 教室・教員研究室		教 室	1,018室 1,046室	教員研究室		50室 43室	※教室数は学部単位での特定不能なため、大学全体の数 基幹教員の採用のため (6)	
(4) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊		学術雑誌 〔うち外国書〕 種		機械・器具 点	標 本 点	
		1,329,010 [417,304] 1,328,175 [418,261] (1,329,010 [417,304]) (1,328,175 [418,261])	4,742 [1,252] (4,742 [1,252])	36,719 [19,482] 68,409 [21,405] (36,719 [19,482]) (68,409 [21,405])	13,889 [12,305] 45,487 [14,227] (13,889 [12,305]) (45,487 [14,227])	39 37 (39) (37)	0 (0)	
	計		1,329,010 417,304 1,328,175 [418,261] (1,329,010 [417,304]) (1,328,175 [418,261])	4,742 [1,252] (4,742 [1,252])	36,719 [19,482] 68,409 [21,405] (36,719 [19,482]) (68,409 [21,405])	13,889 [12,305] 45,487 [14,227] (13,889 [12,305]) (45,487 [14,227])	39 37 (39) (37)	
	(5) スポーツ施設等		ス ポーツ施設	講 堂	厚 生補導施設			
			1,789m ²		2,355m ²	11,760m ²		
(6) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	— 千円	— 千円	図書購入費	— 千円	— 千円	— 千円
	共同研究費等	— 千円	— 千円	設備購入費	— 千円	— 千円	— 千円	
		学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次
		— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要				—			

- (注) • 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）又は（その1の3）に準じて作成してください。
 (複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1) 校地等」及び「(2) 校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- 「(4)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
- 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- 校舎等建物の計画の変更（校舎の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- 高等専門学校については「(3) 教室・教員研究室」欄の「教員研究室」は記載不要です。
- 国立大学については「(6) 経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	富山大学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間のみ)	開設年度	所在地	備考			
人文学部	年	人	年次人	人	-	倍	倍	年度	年度					
人文学科	4	188	3年次7	748	学士(文学)	1.06	1.02	-	昭和52	富山県富山市五福3190番地	令和4年度から入学定員変更(170→188)			
教育学部	4	85	-	255	-	1.03	-	-	令和4	-				
<u>共同教員養成課程</u>	4	85	-	255	学士(教育学)	1.03	-	-	令和4	富山県富山市五福3190番地				
人間発達科学部								平成17	-					
発達教育学科	4	-	-	-	学士(教育学)	-	-	平成17	富山県富山市五福3190番地	令和4年度入学生より学生募集停止				
人間環境システム学科	4	-	-	-	学士(教育学)	-	-	平成17	同上	令和4年度入学生より学生募集停止				
経済学部	4	335	3年次10	335	-	1.01	-	-	昭和28	-				
<u>経済経営学科</u>	4	335	3年次10	335	学士(経済経営学)	1.01	-	-	令和6	富山県富山市五福3190番地				
(昼間主コース)	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
経済学科	4	-	-	-	学士(経済学)	-	-	平成30	富山県富山市五福3190番地	令和6年度入学生より学生募集停止				
経営学科	4	-	-	-	学士(経営学)	-	-	平成30	同上	令和6年度入学生より学生募集停止				
経営法学科	4	-	-	-	学士(法学)	-	-	平成30	同上	令和6年度入学生より学生募集停止				
(夜間主コース)	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
経済学科	4	-	-	-	学士(経済学)	-	-	平成30	富山県富山市五福3190番地	令和6年度入学生より学生募集停止				
経営学科	4	-	-	-	学士(経営学)	-	-	平成30	同上	令和6年度入学生より学生募集停止				
経営法学科	4	-	-	-	学士(法学)	-	-	平成30	同上	令和6年度入学生より学生募集停止				
理学部	4	208	3年次4	208	-	1.04	-	-	昭和52	-				
<u>理学科</u>	4	208	3年次4	208	学士(理学)	1.04	-	-	令和6	富山県富山市五福3190番地				
数学科	-	-	-	-	学士(理学)	-	-	昭和52	同上	令和6年度入学生より学生募集停止				
物理学科	-	-	-	-	学士(理学)	-	-	昭和52	同上	令和6年度入学生より学生募集停止				
化学科	-	-	-	-	学士(理学)	-	-	昭和52	同上	令和6年度入学生より学生募集停止				
生物学科	-	-	-	-	学士(理学)	-	-	昭和52	同上	令和6年度入学生より学生募集停止				
自然環境科学科	-	-	-	-	学士(理学)	-	-	平成5	同上	令和6年度入学生より学生募集停止				
医学部														
医学科	6	105	2年次5	655	学士(医学)	1.01	0.99	令和6	昭和50	富山県富山市杉谷2630番地	入学定員変更(95→105)※臨時定員増継続			
看護学科	4	80	3年次10	340	学士(看護学)	0.96	-	-	平成5	同上				
薬学部														
薬学科	6	70	-	375	学士(薬学)	1.04	1.02	-	平成18	富山県富山市杉谷2630番地	令和4年度から入学定員変更(55→70)			
創薬科学科	4	35	-	155	学士(薬科学)	1.08	1.02	-	平成18	同上	令和4年度から入学定員変更(50→35)			
工学部	4	395	3年次17	1,554	-	1.06	1.00	-	-					
工学科	4	395	3年次17	1,554	学士(工学)	1.06	1.00	-	平成30	富山県富山市五福3190番地	令和6年度から入学定員変更(380→395)			
機械知能システム工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成9	同上	平成30年度入学生より学生募集停止			

既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考
芸術文化学部	4	110	-	440	-	1.07	1.02	-	平成17	-	
芸術文化学科	4	110	-	440	学士(芸術文化学)	1.07	1.02	-	平成17	富山県高岡市二上町180番地	
都市デザイン学部	4	159	3年次3	623	-	1.08	1.03	-	平成30	-	
地球システム科学科	4	40	-	160	学士(理学)	1.10	1.05	-	平成30	富山県富山市五福3190番地	
都市・交通デザイン学科	4	54	3年次1	204	学士(工学)	1.10	1.03	-	平成30	同上	令和4年度から入学定員変更(40→54)
材料デザイン工学科	4	65	3年次2	259	学士(工学)	1.06	1.02	-	平成30	同上	令和4年度から入学定員変更(60→65)
大学全体	-	1,770	2年次5 3年次51	7,527	-	-	-	-	-	-	

5 教育研究実施組織の状況

<経済学部 経済経営学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	青木 一益 <令和6年4月> 修士(法学)※ 国家と市民 スタートアップゼミナール 初年次ゼミナール 2年次ゼミナール-I 2年次ゼミナール-II 3年次ゼミナール-I 3年次ゼミナール-II 4年次ゼミナール-I 4年次ゼミナール-II 卒業論文 政治学-A 政治学-B
専	教授	岩内 秀徳 <令和6年4月> 経済学修士 環日本海 スタートアップゼミナール 初年次ゼミナール 2年次ゼミナール-I 2年次ゼミナール-II 3年次ゼミナール-I 3年次ゼミナール-II 4年次ゼミナール-I 4年次ゼミナール-II 卒業論文 経営学入門 ※ 比較経営論 国際経営論-A 国際経営論-B

【令和6年度】

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
基(主 専)	教授	青木 一益 <令和6年4月> 修士(法学)※ スタートアップゼミナール 初年次ゼミナール 2年次ゼミナール-I 2年次ゼミナール-II 3年次ゼミナール-I 3年次ゼミナール-II 4年次ゼミナール-I 4年次ゼミナール-II 卒業論文 政治学-A 政治学-B
基(主 専)	教授	岩内 秀徳 <令和6年4月> 経済学修士 環日本海 2年次ゼミナール-I 2年次ゼミナール-II 3年次ゼミナール-I 3年次ゼミナール-II 4年次ゼミナール-I 4年次ゼミナール-II 卒業論文 経営学入門 ※ 比較経営論 国際経営論-A 国際経営論-B

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	教員区分	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名		担当授業科目名
専 任	教授	上東 正和 <令和6年4月> 商学修士※	基(主 専)	上東 正和 <令和6年4月> 商学修士※
		スタートアップゼミナーⅠ 初年次ゼミナーⅠ 2年次ゼミナーⅠ- I 2年次ゼミナーⅠ- II 3年次ゼミナーⅠ- I 3年次ゼミナーⅠ- II 経営学入門 ※ 会計情報システム論-A 会計情報システム論-B		2年次ゼミナーⅠ- I 2年次ゼミナーⅠ- II 3年次ゼミナーⅠ- I 3年次ゼミナーⅠ- II 経営学入門 ※ 会計学入門 会計情報システム論-A 会計情報システム論-B
		上東 正和 <令和9年4月> 商学修士※		
		経営学入門 ※ 会計情報システム論-A 会計情報システム論-B		
		王 大鵬 <令和6年4月> 博士(商学)		王 大鵬 <令和6年4月> 博士(商学)
		スタートアップゼミナーⅠ 初年次ゼミナーⅠ 2年次ゼミナーⅠ- I 2年次ゼミナーⅠ- II 3年次ゼミナーⅠ- I 3年次ゼミナーⅠ- II 4年次ゼミナーⅠ- I 4年次ゼミナーⅠ- II 卒業論文 比較経営論 アジア経済経営論-A アジア経済経営論-B		2年次ゼミナーⅠ- I 2年次ゼミナーⅠ- II 3年次ゼミナーⅠ- I 3年次ゼミナーⅠ- II 4年次ゼミナーⅠ- I 4年次ゼミナーⅠ- II 卒業論文 経済学入門 比較経営論 アジア経済経営論-A アジア経済経営論-B

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	教員区分	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名		担当授業科目名
専 教授	岸本（小畠） 壽生 <令和6年4月> 商学修士	富山の地域づくり スタートアップゼミナール 初年次ゼミナール 2年次ゼミナール-I 2年次ゼミナール-II 3年次ゼミナール-I 3年次ゼミナール-II 4年次ゼミナール-I 4年次ゼミナール-II 卒業論文 経営学入門 ※ 商学総論 貿易論-A 貿易論-B リテラシー特殊講義 キャリア・デザイン特殊講義	基(主 専)	岸本（小畠） 壽生 <令和6年4月> 商学修士 地域ライフプラン 富山の地域づくり <u>2年次ゼミナール-I</u> <u>2年次ゼミナール-II</u> <u>3年次ゼミナール-I</u> <u>3年次ゼミナール-II</u> <u>4年次ゼミナール-I</u> <u>4年次ゼミナール-II</u> 卒業論文 経営学入門 ※ 商学総論 貿易論-A 貿易論-B リテラシー特殊講義 キャリア・デザイン特殊講義
		香川 崇 <令和6年4月> 修士(法学)※		香川 崇 <令和6年4月> 修士(法学)※
		市民生活と法 スタートアップゼミナール 初年次ゼミナール 2年次ゼミナール-I 2年次ゼミナール-II 3年次ゼミナール-I 3年次ゼミナール-II 4年次ゼミナール-I 4年次ゼミナール-II 卒業論文 法学入門 民法総則-A 民法総則-B 家族法		<u>初年次ゼミナール</u> <u>2年次ゼミナール-I</u> <u>2年次ゼミナール-II</u> <u>3年次ゼミナール-I</u> <u>3年次ゼミナール-II</u> <u>4年次ゼミナール-I</u> <u>4年次ゼミナール-II</u> 卒業論文 法学入門 民法総則-A 民法総則-B 家族法

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	教員区分	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名		担当授業科目名
専 任	教授	垣田 直樹 <令和6年4月> 経済学修士※ スタートアップゼミナール 初年次ゼミナール 2年次ゼミナール-I 2年次ゼミナール-II 国際経済学-A 国際経済学-B 財政学-A 財政学-B 国際マクロ経済学-A 国際マクロ経済学-B	基(主 専)	垣田 直樹 <令和6年4月> 経済学修士※ <u>2年次ゼミナール-I</u> <u>2年次ゼミナール-II</u> 経済学入門 <u>国際経済学-A</u> <u>国際経済学-B</u> <u>財政学-A</u> <u>財政学-B</u> <u>国際マクロ経済学-A</u> <u>国際マクロ経済学-B</u>
兼任	講師	垣田 直樹 <令和8年4月> 経済学修士※ 国際経済学-A 国際経済学-B 財政学-A 財政学-B 国際マクロ経済学-A 国際マクロ経済学-B		
専 任	教授	唐渡 広志 <令和6年4月> 博士(経済学) はじめての経済学 スタートアップゼミナール 初年次ゼミナール 2年次ゼミナール-I 2年次ゼミナール-II 3年次ゼミナール-I 3年次ゼミナール-II 4年次ゼミナール-I 4年次ゼミナール-II 卒業論文 経済データサイエンス入門 統計学-A 統計学-B データ分析の基礎 プログラミング演習-A プログラミング演習-B 情報技術概論 地理情報システム演習-A 地理情報システム演習-B データサイエンス特殊講義 データサイエンス特殊演習	基(主 専)	唐渡 広志 <令和6年4月> 博士(経済学) <u>はじめての経済学</u> <u>2年次ゼミナール-I</u> <u>2年次ゼミナール-II</u> <u>3年次ゼミナール-I</u> <u>3年次ゼミナール-II</u> <u>4年次ゼミナール-I</u> <u>4年次ゼミナール-II</u> 卒業論文 経済データサイエンス入門 統計学-A 統計学-B データ分析の基礎 プログラミング演習-A プログラミング演習-B 情報技術概論 地理情報システム演習-A 地理情報システム演習-B データサイエンス特殊講義 データサイエンス特殊演習

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	教員区分	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名		担当授業科目名
専 教 授	中村 (唐渡) 真由美 <令和6年4月> 博士(社会学)	中村 (唐渡) 真由美 <令和6年4月> 博士(社会学)	基(主 専)	中村 (唐渡) 真由美 <令和6年4月> 博士(社会学)
		スタートアップゼミナー		2年次ゼミナール-I
		初年次ゼミナー		2年次ゼミナール-II
		2年次ゼミナール-I		3年次ゼミナール-I
		2年次ゼミナール-II		3年次ゼミナール-II
		3年次ゼミナール-I		4年次ゼミナール-I
		3年次ゼミナール-II		4年次ゼミナール-II
		4年次ゼミナール-I		卒業論文
		4年次ゼミナール-II		経済学入門
		卒業論文		社会学総論-A
		社会学総論-A		社会学総論-B
		社会学総論-B		産業社会学
専 教 授	小柳津 (川口) 英知 <令和6年4月> 経済学修士	調査データ解析-A	基(主 専)	調査データ解析-A
		東アジア共同体論-政治・経済・文化-		調査データ解析-B
		スタートアップゼミナー		小柳津 (川口) 英知
		初年次ゼミナー		<令和6年4月>
		2年次ゼミナール-I		経済学修士
		2年次ゼミナール-II		東アジア共同体論-政治・経済・文化-
		3年次ゼミナール-I		
		3年次ゼミナール-II		
		4年次ゼミナール-I		
		4年次ゼミナール-II		
		卒業論文		
		地域経済論-A		
専 教 授	地域経済論-B 経済情報処理 地方財政論-A 地方財政論-B 労働経済論-A 労働経済論-B	地域経済論-B	基(主 専)	
		経済情報処理		
		地方財政論-A		
		地方財政論-B		
		労働経済論-A		
		労働経済論-B		
		労働経済論-A		
		労働経済論-B		

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	教員区分	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名		担当授業科目名
専 任	教授	神山 智美 <令和6年4月> 博士(法学) スタートアップゼミナー ^ル 初年次ゼミナー ^ル 2年次ゼミナー ^ル - I 2年次ゼミナー ^ル - II 3年次ゼミナー ^ル - I 3年次ゼミナー ^ル - II 4年次ゼミナー ^ル - I 4年次ゼミナー ^ル - II 卒業論文 行政法-A 行政法-B 環境法-A 環境法-B	基(主 専)	神山 智美 <令和6年4月> 博士(法学) 2年次ゼミナー ^ル - I 2年次ゼミナー ^ル - II 3年次ゼミナー ^ル - I 3年次ゼミナー ^ル - II 4年次ゼミナー ^ル - I 4年次ゼミナー ^ル - II 卒業論文 行政法-A 行政法-B 環境法-A 環境法-B
専 任	教授	坂田 博美 <令和6年4月> 博士(商学) スタートアップゼミナー ^ル 初年次ゼミナー ^ル 2年次ゼミナー ^ル - I 2年次ゼミナー ^ル - II 3年次ゼミナー ^ル - I 3年次ゼミナー ^ル - II 4年次ゼミナー ^ル - I 4年次ゼミナー ^ル - II 卒業論文 経営学入門 ※ 商学総論 消費者行動論-A 消費者行動論-B	基(主 専)	坂田 博美 <令和6年4月> 博士(商学) 初年次ゼミナー ^ル 2年次ゼミナー ^ル - I 2年次ゼミナー ^ル - II 3年次ゼミナー ^ル - I 3年次ゼミナー ^ル - II 4年次ゼミナー ^ル - I 4年次ゼミナー ^ル - II 卒業論文 経営学入門 ※ 商学総論 消費者行動論-A 消費者行動論-B
専 任	教授	柳原(城宝) 佐智子 <令和6年4月> 博士(情報科学) スタートアップゼミナー ^ル 初年次ゼミナー ^ル 2年次ゼミナー ^ル - I 2年次ゼミナー ^ル - II 3年次ゼミナー ^ル - I 3年次ゼミナー ^ル - II 4年次ゼミナー ^ル - I 4年次ゼミナー ^ル - II 卒業論文 経営学入門 ※ 経営情報論 情報システム論-A 情報システム論-B 経営戦略論-A 経営戦略論-B	基(主 専)	柳原(城宝) 佐智子 <令和6年4月> 博士(情報科学) スタートアップゼミナー ^ル 2年次ゼミナー ^ル - I 2年次ゼミナー ^ル - II 3年次ゼミナー ^ル - I 3年次ゼミナー ^ル - II 4年次ゼミナー ^ル - I 4年次ゼミナー ^ル - II 卒業論文 経営学入門 ※ 経営情報論 情報システム論-A 情報システム論-B 経営戦略論-A 経営戦略論-B

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	教員区分	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名		担当授業科目名
専 任	教授	高山 龍太郎 <令和6年4月> 修士(文学)	基(主 専)	高山 龍太郎 <令和6年4月> 修士(文学)
		時事的問題		時事的問題
		スタートアップゼミナー		スタートアップゼミナー
		初年次ゼミナー		初年次ゼミナー
		2年次ゼミナール-I		2年次ゼミナール-I
		2年次ゼミナール-II		2年次ゼミナール-II
		3年次ゼミナール-I		3年次ゼミナール-I
		3年次ゼミナール-II		3年次ゼミナール-II
		4年次ゼミナール-I		4年次ゼミナール-I
		4年次ゼミナール-II		4年次ゼミナール-II
		卒業論文		卒業論文
		社会学総論-A		社会学総論-A
		社会学総論-B		社会学総論-B
		社会調査の基礎		社会調査の基礎
		地域社会学		地域社会学
		質的調査法		質的調査法
		サステイナビリティ学 ※		サステイナビリティ学 ※
専 任	教授	竹地 潔 <令和6年4月> 法学修士※	基(主 専)	竹地 潔 <令和6年4月> 法学修士※
		スタートアップゼミナー		2年次ゼミナール-I
		初年次ゼミナー		2年次ゼミナール-II
		2年次ゼミナール-I		3年次ゼミナール-I
		2年次ゼミナール-II		3年次ゼミナール-II
		3年次ゼミナール-I		労働法 I -A
		3年次ゼミナール-II		労働法 I -B
		労働法 I -A		労働法 II -A
		労働法 I -B		労働法 II -B
		労働法 II -A		
		労働法 II -B		
兼任	講師	竹地 潔 <令和9年4月> 法学修士※		
		労働法 I -A		
		労働法 I -B		
		労働法 II -A		
		労働法 II -B		

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	教員区分	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名		担当授業科目名
専 任	教授	鳥羽 達郎 <令和6年4月> 博士(地域政策学)	基(主 専)	鳥羽 達郎 <令和6年4月> 博士(地域政策学)
		市場と企業の関係		市場と企業の関係
		スタートアップゼミナール		<u>2年次ゼミナール- I</u>
		初年次ゼミナール		<u>2年次ゼミナール- II</u>
		2年次ゼミナール- I		<u>3年次ゼミナール- I</u>
		2年次ゼミナール- II		<u>3年次ゼミナール- II</u>
		3年次ゼミナール- I		<u>4年次ゼミナール- I</u>
		3年次ゼミナール- II		<u>4年次ゼミナール- II</u>
		4年次ゼミナール- I		<u>卒業論文</u>
		4年次ゼミナール- II		<u>経営学入門</u> ※
		卒業論文		<u>商学総論</u>
		経営学入門 ※		<u>マーケティング・マネジメント論-A</u>
		商学総論		<u>マーケティング・マネジメント論-B</u>
		マーケティング・マネジメント論-A		<u>経営戦略論-A</u>
		マーケティング・マネジメント論-B		<u>経営戦略論-B</u>
		経営戦略論-A		<u>国際マーケティング論</u>
		経営戦略論-B		
		国際マーケティング論		
専 任	教授	橋口 賢一 <令和6年4月> 修士(法学)	基(主 専)	橋口 賢一 <令和6年4月> 修士(法学)
		スタートアップゼミナール		市民生活と法
		初年次ゼミナール		
		2年次ゼミナール- I		<u>2年次ゼミナール- I</u>
		2年次ゼミナール- II		<u>2年次ゼミナール- II</u>
		3年次ゼミナール- I		<u>3年次ゼミナール- I</u>
		3年次ゼミナール- II		<u>3年次ゼミナール- II</u>
		4年次ゼミナール- I		<u>4年次ゼミナール- I</u>
		4年次ゼミナール- II		<u>4年次ゼミナール- II</u>
		卒業論文		<u>卒業論文</u>
		法学入門		<u>物権法-A</u>
		物権法-B		<u>物権法-B</u>
		債権法II(各論)-A		<u>債権法II(各論)-A</u>
		債権法II(各論)-B		<u>債権法II(各論)-B</u>
		家族法		<u>家族法</u>

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	教員区分	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専 任	教授	平野 真由			
		<令和6年4月>			
		博士(経営学)			
		スタートアップゼミナー			
		初年次ゼミナー			
		2年次ゼミナール-I			
		2年次ゼミナール-II			
		3年次ゼミナール-I			
		3年次ゼミナール-II			
		4年次ゼミナール-I			
		4年次ゼミナール-II			
		卒業論文			
		法学入門			
		金融取引法 - A			
		金融取引法 - B			
専 任	教授	経済・経営と法-A	基(主 専)	教授	本間 哲志
		経済・経営と法-B			<令和6年4月>
		本間 哲志			農学博士※
		<令和6年4月>			
		農学博士※			
		スタートアップゼミナー			<u>2年次ゼミナール-I</u>
		初年次ゼミナー			<u>2年次ゼミナール-II</u>
		2年次ゼミナール-I			<u>3年次ゼミナール-I</u>
		2年次ゼミナール-II			<u>3年次ゼミナール-II</u>
		3年次ゼミナール-I			<u>4年次ゼミナール-I</u>
		3年次ゼミナール-II			<u>4年次ゼミナール-II</u>
		4年次ゼミナール-I			卒業論文
		4年次ゼミナール-II			<u>経済学入門</u>
		卒業論文			<u>金融機関論</u>
		金融機関論			<u>金融論I-A</u>
		金融論I-A			<u>金融論I-B</u>
		金融論I-B			<u>証券市場論</u>
		証券市場論			<u>文理融合データサイエンス ※</u>
		文理融合データサイエンス ※			<u>地域政策特殊講義</u>
		地域政策特殊講義			<u>地域政策特殊演習</u>
		地域政策特殊演習			

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	教員区分	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名		担当授業科目名
専	教授	馬 駿 <令和6年4月> 博士(経済学) スタートアップゼミナー ^ル 初年次ゼミナー ^ル 2年次ゼミナール- I 2年次ゼミナール- II 3年次ゼミナール- I 3年次ゼミナール- II 4年次ゼミナール- I 4年次ゼミナール- II 卒業論文 経営学入門 ※ 人的資源管理-A 人的資源管理-B 経営戦略論-A 経営戦略論-B 地域ビジネス特殊講義 地域ビジネス特殊演習	基(主 専)	馬 駿 <令和6年4月> 博士(経済学) 初年次ゼミナー ^ル 2年次ゼミナール- I 2年次ゼミナール- II 3年次ゼミナール- I 3年次ゼミナール- II 4年次ゼミナール- I 4年次ゼミナール- II 卒業論文 経営学入門 ※ 人的資源管理-A 人的資源管理-B 経営戦略論-A 経営戦略論-B 地域ビジネス特殊講義 地域ビジネス特殊演習
専	教授	松井 隆幸 <令和6年4月> 経済学修士※ アカデミック・デザイン スタートアップゼミナー ^ル 初年次ゼミナー ^ル	基(主 専)	松井 隆幸 <令和6年4月> 経済学修士※ アカデミック・デザイン スタートアップゼミナー ^ル 経済学入門
兼任	講師	松井 隆幸 <令和7年4月> 経済学修士※ アカデミック・デザイン 比較経営論 日本産業論-A 日本産業論-B		比較経営論 日本産業論-A 日本産業論-B
専	教授	モヴシュク オレクサンダー ^ル <令和6年4月> 博士(経済学) スタートアップゼミナー ^ル 初年次ゼミナー ^ル 2年次ゼミナール- I 2年次ゼミナール- II 3年次ゼミナール- I 3年次ゼミナール- II 4年次ゼミナール- I 4年次ゼミナール- II 卒業論文 計量経済学-A 計量経済学-B 機械学習概論	基(主 専)	モヴシュク オレクサンダー ^ル <令和6年4月> 博士(経済学) 2年次ゼミナール- I 2年次ゼミナール- II 3年次ゼミナール- I 3年次ゼミナール- II 4年次ゼミナール- I 4年次ゼミナール- II 卒業論文 経済データサイエンス入門 計量経済学-A 計量経済学-B 機械学習概論

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	教員区分	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名		担当授業科目名
専 任教 (学部 長)	教授 (学部 長)	森口 毅彦 <令和6年4月> 修士(経営学)	基(主 専)	森口 毅彦 <令和6年4月> 修士(経営学)
		経営資源のとらえ方 スタートアップゼミナー 初年次ゼミナー 2年次ゼミナール-I 2年次ゼミナール-II 3年次ゼミナール-I 3年次ゼミナール-II 4年次ゼミナール-I 4年次ゼミナール-II 卒業論文 経営学入門 ※ 会計学入門 管理会計論-A 管理会計論-B サステイナビリティ学 ※ キャリアスタディ インターンシップ I インターンシップ II 外国書講読 I 外国書講読 II		経営資源のとらえ方 2年次ゼミナール-I 2年次ゼミナール-II 3年次ゼミナール-I 3年次ゼミナール-II 4年次ゼミナール-I 4年次ゼミナール-II 卒業論文 経営学入門 ※ 会計学入門 管理会計論-A 管理会計論-B サステイナビリティ学 ※ キャリアスタディ インターンシップ I インターンシップ II 外国書講読 I 外国書講読 II
		両角 良子 <令和6年4月> 博士(経済学)		両角 良子 <令和6年4月> 博士(経済学)
		産業と経済を学ぶ スタートアップゼミナー 初年次ゼミナー 2年次ゼミナール-I 2年次ゼミナール-II 3年次ゼミナール-I 3年次ゼミナール-II 4年次ゼミナール-I 4年次ゼミナール-II 卒業論文 社会保障論-A 社会保障論-B		産業と経済を学ぶ スタートアップゼミナー 2年次ゼミナール-I 2年次ゼミナール-II 3年次ゼミナール-I 3年次ゼミナール-II 4年次ゼミナール-I 4年次ゼミナール-II 卒業論文 経済学入門 社会保障論-A 社会保障論-B

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	教員区分	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名		担当授業科目名
		横山 一憲 <令和6年4月> 学術博士		横山 一憲 <令和6年4月> 学術博士
専	教授	社会と情報の数理 スタートアップゼミナーⅠ 初年次ゼミナーⅠ 2年次ゼミナーⅠ- I 2年次ゼミナーⅠ- II 3年次ゼミナーⅠ- I 3年次ゼミナーⅠ- II 4年次ゼミナーⅠ- I 4年次ゼミナーⅠ- II 卒業論文 データサイエンスのための数学-A データサイエンスのための数学-B オペレーションズ・リサーチ-A オペレーションズ・リサーチ-B ゲーム分析-A ゲーム分析-B ビジネスデータ分析-A ビジネスデータ分析-B 文理融合データサイエンス ※ 基礎数学	基(主 専)	2年次ゼミナーⅠ- I 2年次ゼミナーⅠ- II 3年次ゼミナーⅠ- I 3年次ゼミナーⅠ- II 4年次ゼミナーⅠ- I 4年次ゼミナーⅠ- II 卒業論文 データサイエンスのための数学-A データサイエンスのための数学-B オペレーションズ・リサーチ-A オペレーションズ・リサーチ-B ゲーム分析-A ゲーム分析-B ビジネスデータ分析-A ビジネスデータ分析-B 文理融合データサイエンス ※ 基礎数学
専	教授	龍 世祥 <令和6年4月> 博士(学術)		龍 世祥 <令和6年4月> 博士(学術)
		スタートアップゼミナー 初年次ゼミナー 環境経済学-A 環境経済学-B 地方創生環境学-A 地方創生環境学-B		経済学入門 環境経済学-A 環境経済学-B 地方創生環境学-A 地方創生環境学-B
兼任	講師	龍 世祥 <令和7年4月> 博士(学術)		
		環境経済学-A 環境経済学-B 地方創生環境学-A 地方創生環境学-B		

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	教員区分	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名		担当授業科目名
専	准教授	井坂 友紀 <令和6年4月> 博士(経済学) スタートアップゼミナー ^ル 初年次ゼミナー ^ル 2年次ゼミナー ^ル - I 2年次ゼミナー ^ル - II 3年次ゼミナー ^ル - I 3年次ゼミナー ^ル - II 4年次ゼミナー ^ル - I 4年次ゼミナー ^ル - II 卒業論文 西洋経済史-A 西洋経済史-B	基(主 専)	井坂 友紀 <令和6年4月> 博士(経済学) 2年次ゼミナー ^ル - I 2年次ゼミナー ^ル - II 3年次ゼミナー ^ル - I 3年次ゼミナー ^ル - II 4年次ゼミナー ^ル - I 4年次ゼミナー ^ル - II 卒業論文 西洋経済史-A 西洋経済史-B
専	准教授	石田 真 <令和6年4月> 修士(法学)※ スタートアップゼミナー ^ル 初年次ゼミナー ^ル 2年次ゼミナー ^ル - I 2年次ゼミナー ^ル - II 3年次ゼミナー ^ル - I 3年次ゼミナー ^ル - II 4年次ゼミナー ^ル - I 4年次ゼミナー ^ル - II 卒業論文 会社法-A 会社法-B 商法総則・商行為法-A 商法総則・商行為法-B	基(主 専)	石田 真 <令和6年4月> 修士(法学)※ 経済生活と法 2年次ゼミナー ^ル - I 2年次ゼミナー ^ル - II 3年次ゼミナー ^ル - I 3年次ゼミナー ^ル - II 4年次ゼミナー ^ル - I 4年次ゼミナー ^ル - II 卒業論文 会社法-A 会社法-B 商法総則・商行為法-A 商法総則・商行為法-B
専	准教授	伊藤 嘉規 <令和6年4月> 修士(法学) 日本国憲法 経済生活と法 スタートアップゼミナー ^ル 初年次ゼミナー ^ル 2年次ゼミナー ^ル - I 2年次ゼミナー ^ル - II 3年次ゼミナー ^ル - I 3年次ゼミナー ^ル - II 4年次ゼミナー ^ル - I 4年次ゼミナー ^ル - II 卒業論文 憲法-A 憲法-B 憲法統治機構論 税法-A 税法-B	基(主 専)	伊藤 嘉規 <令和6年4月> 修士(法学) 2年次ゼミナー ^ル - I 2年次ゼミナー ^ル - II 3年次ゼミナー ^ル - I 3年次ゼミナー ^ル - II 4年次ゼミナー ^ル - I 4年次ゼミナー ^ル - II 卒業論文 憲法-A 憲法-B 憲法統治機構論 税法-A 税法-B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	教員区分	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名		担当授業科目名
専	准教授	岩本 学 <令和6年4月> 修士(法学)※ スタートアップゼミナー ^ル 初年次ゼミナー ^ル 2年次ゼミナー ^ル - I 2年次ゼミナー ^ル - II 3年次ゼミナー ^ル - I 3年次ゼミナー ^ル - II 4年次ゼミナー ^ル - I 4年次ゼミナー ^ル - II 卒業論文 民事訴訟法-A 民事訴訟法-B 民事執行法 国際私法		
専	准教授	大坂 洋 <令和6年4月> 修士(経済学) 富山から考える震災・復興学 スタートアップゼミナー ^ル 初年次ゼミナー ^ル 2年次ゼミナー ^ル - I 2年次ゼミナー ^ル - II 3年次ゼミナー ^ル - I 3年次ゼミナー ^ル - II 4年次ゼミナー ^ル - I 4年次ゼミナー ^ル - II 卒業論文 経済学入門 ミクロ経済学入門 ミクロ経済学-A ミクロ経済学-B 社会経済学概論	基(主 専)	大坂 洋 <令和6年4月> 修士(経済学) 富山から考える震災・復興学 スタートアップゼミナー ^ル 2年次ゼミナー ^ル - I 2年次ゼミナー ^ル - II 3年次ゼミナー ^ル - I 3年次ゼミナー ^ル - II 4年次ゼミナー ^ル - I 4年次ゼミナー ^ル - II 卒業論文 経済学入門 ミクロ経済学入門 ミクロ経済学-A ミクロ経済学-B 社会経済学概論
専	准教授	森嶋 秀紀 <令和6年4月> 修士(法学) スタートアップゼミナー ^ル 初年次ゼミナー ^ル 2年次ゼミナー ^ル - I 2年次ゼミナー ^ル - II 3年次ゼミナー ^ル - I 3年次ゼミナー ^ル - II 4年次ゼミナー ^ル - I 4年次ゼミナー ^ル - II 卒業論文 法学入門 債権法I(総論)-A 債権法I(総論)-B 家族法	基(主 専)	森嶋 秀紀 <令和6年4月> 修士(法学) スタートアップゼミナー ^ル 2年次ゼミナー ^ル - I 2年次ゼミナー ^ル - II 3年次ゼミナー ^ル - I 3年次ゼミナー ^ル - II 4年次ゼミナー ^ル - I 4年次ゼミナー ^ル - II 卒業論文 法学入門 債権法I(総論)-A 債権法I(総論)-B 家族法

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	教員区分	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名		担当授業科目名
専 准教授	准教授	櫻田 貴道 <令和6年4月> 博士(経済学)	基(主 専)	櫻田 貴道 <令和6年4月> 博士(経済学)
		スタートアップゼミナー		2年次ゼミナーI
		初年次ゼミナー		2年次ゼミナーII
		2年次ゼミナーI		3年次ゼミナーI
		2年次ゼミナーII		3年次ゼミナーII
		3年次ゼミナーI		4年次ゼミナーI
		3年次ゼミナーII		4年次ゼミナーII
		4年次ゼミナーI		卒業論文
		4年次ゼミナーII		経営学入門 ※
		卒業論文		経営学総論
		経営学入門 ※		経営組織論-A
		経営学総論		経営組織論-B
		経営組織論-A		経営戦略論-A
		経営組織論-B		経営戦略論-B
専 准教授	准教授	辻本 淳史 <令和6年4月> 修士(法学)※	基(主 専)	辻本 淳史 <令和6年4月> 修士(法学)※
		スタートアップゼミナー		スタートアップゼミナー
		初年次ゼミナー		2年次ゼミナーI
		2年次ゼミナーI		2年次ゼミナーII
		2年次ゼミナーII		3年次ゼミナーI
		3年次ゼミナーI		3年次ゼミナーII
		3年次ゼミナーII		4年次ゼミナーI
		4年次ゼミナーI		4年次ゼミナーII
		4年次ゼミナーII		卒業論文
		卒業論文		刑法総論-A
		刑法総論-A		刑法総論-B
		刑法各論-A		刑法各論-A
		刑法各論-B		刑法各論-B
専 准教授	准教授	廣橋 祥 <令和6年4月> 修士(経営学)※	基(主 専)	廣橋 祥 <令和6年4月> 修士(経営学)※
		スタートアップゼミナー		スタートアップゼミナー
		初年次ゼミナー		2年次ゼミナーI
		2年次ゼミナーI		2年次ゼミナーII
		2年次ゼミナーII		3年次ゼミナーI
		3年次ゼミナーI		3年次ゼミナーII
		3年次ゼミナーII		4年次ゼミナーI
		4年次ゼミナーI		4年次ゼミナーII
		4年次ゼミナーII		卒業論文
		卒業論文		経営学入門 ※
		経営学入門 ※		財務会計論
		財務会計論		簿記論-A
		簿記論-A		簿記論-B
		簿記論-B		

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	教員区分	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名		担当授業科目名
専 准教授		松山 淳 <令和6年4月> 博士(経済学)	基(主 専)	松山 淳 <令和6年4月> 博士(経済学)
		スタートアップゼミナー 初年次ゼミナー		2年次ゼミナーI 2年次ゼミナーII
		2年次ゼミナーI 2年次ゼミナーII		3年次ゼミナーI 3年次ゼミナーII
		3年次ゼミナーI 3年次ゼミナーII		4年次ゼミナーI 4年次ゼミナーII
		4年次ゼミナーI 4年次ゼミナーII		卒業論文
		卒業論文		政治経済学-A
		政治経済学-B		政治経済学-B
		サステイナビリティ学 ※		サステイナビリティ学 ※
		眞部 典久 <令和6年4月> 修士(商学)※		眞部 典久 <令和6年4月> 修士(商学)※
		スタートアップゼミナー 初年次ゼミナー		2年次ゼミナーI 2年次ゼミナーII
専 准教授		2年次ゼミナーI 2年次ゼミナーII	基(主 専)	3年次ゼミナーI 3年次ゼミナーII
		3年次ゼミナーI 3年次ゼミナーII		4年次ゼミナーI 4年次ゼミナーII
		4年次ゼミナーI 4年次ゼミナーII		卒業論文
		卒業論文		経営学入門 ※
		経営学入門 ※		原価計算論-A
		原価計算論-B		原価計算論-B
		コストマネジメント		コストマネジメント
		八百 章嘉 <令和6年4月> 修士(法学)※		八百 章嘉 <令和6年4月> 修士(法学)※
		スタートアップゼミナー 初年次ゼミナー		国家と市民
		2年次ゼミナーI 2年次ゼミナーII		スタートアップゼミナー
専 准教授		3年次ゼミナーI 3年次ゼミナーII	基(主 専)	2年次ゼミナーI 2年次ゼミナーII
		4年次ゼミナーI 4年次ゼミナーII		3年次ゼミナーI 3年次ゼミナーII
		卒業論文		4年次ゼミナーI 4年次ゼミナーII
		刑事訴訟法-A		卒業論文
		刑事訴訟法-B		刑事訴訟法-A
				刑事訴訟法-B

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	教員区分	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名		担当授業科目名
専 准教授	准教授	矢島 桂 <令和6年4月> 博士(経済学)	基(主 専)	矢島 桂 <令和6年4月> 博士(経済学)
		スタートアップゼミナー ^ル 初年次ゼミナー ^ル 2年次ゼミナー ^ル - I 2年次ゼミナー ^ル - II 3年次ゼミナー ^ル - I 3年次ゼミナー ^ル - II 4年次ゼミナー ^ル - I 4年次ゼミナー ^ル - II 卒業論文 経済史総論-A 経済史総論-B 日本経済史-A 日本経済史-B		2年次ゼミナー ^ル - I 2年次ゼミナー ^ル - II 3年次ゼミナー ^ル - I 3年次ゼミナー ^ル - II 4年次ゼミナー ^ル - I 4年次ゼミナー ^ル - II 卒業論文 経済史総論-A 経済史総論-B 日本経済史-A 日本経済史-B
		山田 潤司 <令和6年4月> 修士(経済学)※		山田 潤司 <令和6年4月> 修士(経済学)※
		スタートアップゼミナー ^ル 初年次ゼミナー ^ル 2年次ゼミナー ^ル - I 2年次ゼミナー ^ル - II 3年次ゼミナー ^ル - I 3年次ゼミナー ^ル - II 4年次ゼミナー ^ル - I 4年次ゼミナー ^ル - II 卒業論文 金融論II-A 金融論II-B		初年次ゼミナー ^ル 2年次ゼミナー ^ル - I 2年次ゼミナー ^ル - II 3年次ゼミナー ^ル - I 3年次ゼミナー ^ル - II 4年次ゼミナー ^ル - I 4年次ゼミナー ^ル - II 卒業論文 経済学入門 金融論II-A 金融論II-B
		若林 丈靖 <令和6年4月> 経済学修士		若林 丈靖 <令和6年4月> 経済学修士
		スタートアップゼミナー ^ル 初年次ゼミナー ^ル 2年次ゼミナー ^ル - I 2年次ゼミナー ^ル - II 3年次ゼミナー ^ル - I 3年次ゼミナー ^ル - II 4年次ゼミナー ^ル - I 4年次ゼミナー ^ル - II 卒業論文 経済学入門 マクロ経済学入門 マクロ経済学-A マクロ経済学-B		2年次ゼミナー ^ル - I 2年次ゼミナー ^ル - II 3年次ゼミナー ^ル - I 3年次ゼミナー ^ル - II 4年次ゼミナー ^ル - I 4年次ゼミナー ^ル - II 卒業論文 経済学入門 マクロ経済学入門 マクロ経済学-A マクロ経済学-B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	教員区分	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専 任	講師	古賀 さゆり <令和6年4月> 修士(理学)	基(主 専)	講師	古賀 さゆり <令和6年4月> 修士(理学)
		スタートアップゼミナー ^ル 初年次ゼミナー ^ル 2年次ゼミナー ^ル - I 2年次ゼミナー ^ル - II 3年次ゼミナー ^ル - I 3年次ゼミナー ^ル - II 4年次ゼミナー ^ル - I 4年次ゼミナー ^ル - II 卒業論文 経営数学-A 経営数学-B			社会と情報の数理 <u>2年次ゼミナー^ル- I</u> <u>2年次ゼミナー^ル- II</u> <u>3年次ゼミナー^ル- I</u> <u>3年次ゼミナー^ル- II</u> <u>4年次ゼミナー^ル- I</u> <u>4年次ゼミナー^ル- II</u> 卒業論文 経営数学-A 経営数学-B
		本山 卓実 <令和6年4月> 修士(経済学)			本山 卓実 <令和6年4月> 修士(経済学)
		スタートアップゼミナー ^ル 初年次ゼミナー ^ル 2年次ゼミナー ^ル - I 2年次ゼミナー ^ル - II 3年次ゼミナー ^ル - I 3年次ゼミナー ^ル - II 4年次ゼミナー ^ル - I 4年次ゼミナー ^ル - II 卒業論文 経済成長論-A 経済成長論-B			<u>2年次ゼミナー^ル- I</u> <u>2年次ゼミナー^ル- II</u> <u>3年次ゼミナー^ル- I</u> <u>3年次ゼミナー^ル- II</u> <u>4年次ゼミナー^ル- I</u> <u>4年次ゼミナー^ル- II</u> 卒業論文 経済学入門 マクロ経済学入門 経済成長論-A 経済成長論-B
		山崎 竜弥 <令和6年4月> 博士(商学)			山崎 竜弥 <令和6年4月> 博士(商学)
		スタートアップゼミナー ^ル 初年次ゼミナー ^ル 2年次ゼミナー ^ル - I 2年次ゼミナー ^ル - II 3年次ゼミナー ^ル - I 3年次ゼミナー ^ル - II 4年次ゼミナー ^ル - I 4年次ゼミナー ^ル - II 卒業論文 経営学入門 ※ 経営学総論 経営情報論 経営システム-A 経営システム-B			<u>2年次ゼミナー^ル- I</u> <u>2年次ゼミナー^ル- II</u> <u>3年次ゼミナー^ル- I</u> <u>3年次ゼミナー^ル- II</u> <u>4年次ゼミナー^ル- I</u> <u>4年次ゼミナー^ル- II</u> 卒業論文 経営学入門 ※ 経営学総論 経営情報論 経営システム-A 経営システム-B

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	教員区分	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名		担当授業科目名
				内藤 嶺海 <令和6年4月> 博士(経済学) <u>2年次ゼミナール- I</u> <u>2年次ゼミナール- II</u> <u>3年次ゼミナール- I</u> <u>3年次ゼミナール- II</u> <u>4年次ゼミナール- I</u> <u>4年次ゼミナール- II</u> <u>卒業論文</u> <u>経済データサイエンス入門</u>
		XIE DI <令和6年4月> 博士(人間科学)		XIE DI <令和6年4月> 博士(人間科学)
専	助教	スタートアップゼミナー 初年次ゼミナー 2年次ゼミナール- I 2年次ゼミナール- II 3年次ゼミナール- I 3年次ゼミナール- II 4年次ゼミナール- I 4年次ゼミナール- II 卒業論文 経営学入門 ※ 経営管理論 組織行動論	基(主 専)	スタートアップゼミナー <u>2年次ゼミナール- I</u> <u>2年次ゼミナール- II</u> <u>3年次ゼミナール- I</u> <u>3年次ゼミナール- II</u> <u>4年次ゼミナール- I</u> <u>4年次ゼミナール- II</u> <u>卒業論文</u> <u>経営学入門</u> ※ <u>経営管理論</u> <u>組織行動論</u>
専	助教	ZHAI WEIYANG <令和6年4月> 博士(経済学)	基(主 専)	ZHAI WEIYANG <令和6年4月> 博士(経済学)
		スタートアップゼミナー 初年次ゼミナー 2年次ゼミナール- I 2年次ゼミナール- II 3年次ゼミナール- I 3年次ゼミナール- II 4年次ゼミナール- I 4年次ゼミナール- II 卒業論文 応用計量経済学-A 応用計量経済学-B		 <u>2年次ゼミナール- I</u> <u>2年次ゼミナール- II</u> <u>3年次ゼミナール- I</u> <u>3年次ゼミナール- II</u> <u>4年次ゼミナール- I</u> <u>4年次ゼミナール- II</u> <u>卒業論文</u> <u>経済学入門</u> <u>応用計量経済学-A</u> <u>応用計量経済学-B</u>

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	教員区分	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名		担当授業科目名
専	助教	日隈 美朱 <令和6年4月> 博士(経済学)	基(主 専)	日隈 美朱 <令和6年4月> 博士(経済学)
		スタートアップゼミナール		スタートアップゼミナール
		初年次ゼミナール		2年次ゼミナール-I
		2年次ゼミナール-I		2年次ゼミナール-II
		3年次ゼミナール-I		3年次ゼミナール-I
		3年次ゼミナール-II		3年次ゼミナール-II
		4年次ゼミナール-I		4年次ゼミナール-I
		4年次ゼミナール-II		4年次ゼミナール-II
		卒業論文		卒業論文
		経営学入門 ※		経営学入門 ※
		商学総論		商学総論
		流通論-A		流通論-A
		流通論-B		流通論-B
		流通史		流通史
専	助教	鈴木 敬史 <令和6年4月> 博士(法学)	基(主 専)	鈴木 敬史 <令和6年4月> 博士(法学)
		スタートアップゼミナール		2年次ゼミナール-I
		初年次ゼミナール		2年次ゼミナール-II
		2年次ゼミナール-I		3年次ゼミナール-I
		2年次ゼミナール-II		3年次ゼミナール-II
		3年次ゼミナール-I		4年次ゼミナール-I
		3年次ゼミナール-II		4年次ゼミナール-II
		4年次ゼミナール-I		卒業論文
		4年次ゼミナール-II		知的財産法
		卒業論文		AI社会と法
		知的財産法		
		AI社会と法		
基(主 専)	助教	今井 雄一 <令和6年4月> 博士(経済学)	基(主 専)	今井 雄一 <令和6年4月> 博士(経済学)
		スタートアップゼミナール		スタートアップゼミナール
		2年次ゼミナール-I		2年次ゼミナール-I
		2年次ゼミナール-II		2年次ゼミナール-II
		3年次ゼミナール-I		3年次ゼミナール-I
		3年次ゼミナール-II		3年次ゼミナール-II
		4年次ゼミナール-I		4年次ゼミナール-I
		4年次ゼミナール-II		4年次ゼミナール-II
		卒業論文		卒業論文
		経済学入門		経済学入門
		ミクロ経済学入門		ミクロ経済学入門

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	教員区分	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
					松本 知己 <令和6年4月> 博士(工学)
			基(主 専)	助教	<u>2年次ゼミナール I</u> <u>2年次ゼミナール II</u> <u>3年次ゼミナール I</u> <u>3年次ゼミナール II</u> <u>4年次ゼミナール I</u> <u>4年次ゼミナール II</u> <u>卒業論文</u>
			基(主 専)	助教	山本 真人 <令和6年4月> 博士(学術)
					<u>スタートアップゼミナール</u> <u>2年次ゼミナール I</u> <u>2年次ゼミナール II</u> <u>3年次ゼミナール I</u> <u>3年次ゼミナール II</u> <u>4年次ゼミナール I</u> <u>4年次ゼミナール II</u> <u>卒業論文</u>
兼担	教授	青木(栗原) 恭子 <令和6年4月> 博士(社会学)	その他	教授	青木(栗原) 恭子 <令和6年4月> 博士(社会学)
		西洋の歴史と社会			西洋の歴史と社会
兼担	教授	阿部 孝之 <令和6年4月> 工学博士			
		科学と社会			
兼担	教授	大森 清人 <令和6年4月> 農学士	その他	教授	大森 清人 <令和6年4月> 農学士
		ビジネス思考			ビジネス思考
兼担	教授	奥 敬一 <令和6年4月> 農学博士	その他	教授	奥 敬一 <令和6年4月> 農学博士
		富山学			富山学
兼担	教授	久保田 善明 <令和6年4月> 博士(工学)	その他	教授	久保田 善明 <令和6年4月> 博士(工学)
		教養としての都市デザイン学			教養としての都市デザイン学

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	教員区分	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼担	教授	倉光 英樹	その他	教授	倉光 英樹
		<令和6年4月> 博士(地球環境科学)			<令和6年4月> 博士(地球環境科学)
		地方創生環境学-A 地方創生環境学-B			地方創生環境学-A 地方創生環境学-B
兼担	教授	栗本 猛	その他	教授	栗本 猛
		<令和6年4月> 理学博士			<令和6年4月> 理学博士
		データサイエンスの世界 データサイエンスの実践			データサイエンスの世界 データサイエンスの実践
兼担	教授	酒井 秀紀	その他	教授	酒井 秀紀
		<令和6年4月> 博士(薬学)			<令和6年4月> 博士(薬学)
		薬都とやま学			薬都とやま学
兼担	教授	佐藤(大藏) 裕	その他	教授	佐藤(大藏) 裕
		<令和6年4月> 博士(人間科学)			<令和6年4月> 博士(人間科学)
		ジェンダー			ジェンダー
兼担	教授	千田 恭子	その他	教授	千田 恭子
		<令和6年4月> 芸術学修士			<令和6年4月> 芸術学修士
		音楽			音楽
兼担	教授	谷井 一郎	その他	教授	田中 大祐
		<令和6年4月> 理学博士			<令和6年4月> 博士(医学)
		医療と地域社会			地方創生環境学-A 地方創生環境学-B
兼担	教授	田中 大祐	その他	教授	田中 大祐
		<令和6年4月> 博士(医学)			<令和6年4月> 博士(医学)
		地方創生環境学-A 地方創生環境学-B			地方創生環境学-A 地方創生環境学-B
兼担	教授	田畠(布村) 真美	その他	教授	田畠(布村) 真美
		<令和6年4月> 博士(文学)			<令和6年4月> 博士(文学)
		人間と倫理			人間と倫理
兼担	教授	鳥海 清司	その他	教授	鳥海 清司
		<令和6年4月> 博士(工学)			<令和6年4月> 博士(工学)
		健康・スポーツ／講義 健康・スポーツ／実技			健康・スポーツ／講義 健康・スポーツ／実技

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	教員区分	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名		担当授業科目名
兼任	教授	中島 淑恵 <令和6年4月> 文学修士	その他 教授	中島 淑恵 <令和6年4月> 文学修士
		フランス語基礎Ⅰ		フランス語基礎Ⅰ
		フランス語基礎Ⅱ		フランス語基礎Ⅱ
		フランス語コミュニケーションⅠ		フランス語コミュニケーションⅠ
兼任	教授	フランス語コミュニケーションⅡ		フランス語コミュニケーションⅡ
		名執 基樹 <令和6年4月> 文学修士		名執 基樹 <令和6年4月> 文学修士
		ドイツ語コミュニケーションⅡ		ドイツ語コミュニケーションⅡ
		発展多言語演習ドイツ語		発展多言語演習ドイツ語
兼任	教授	西田谷 洋 <令和6年4月> 博士(文学)	その他 教授	西田谷 洋 <令和6年4月> 博士(文学)
		日本文学		日本文学
		濱田 美和 <令和6年4月> 修士(言語・文化学)		濱田 美和 <令和6年4月> 修士(言語・文化学)
		日本語コミュニケーションⅢ 日本事情／芸術文化 日本事情／自然社会		日本語コミュニケーションⅢ 日本事情／芸術文化 日本事情／自然社会
兼任	教授	堀 悅郎 <令和6年4月> 博士(医学)	その他 教授	堀 悅郎 <令和6年4月> 博士(医学)
		医療心理学 脳科学入門 身近な医学		医療心理学 脳科学入門 身近な医学
		堀川 恵司 <令和6年4月> 博士(地球環境科学)		堀川 恵司 <令和6年4月> 博士(地球環境科学)
		サステイナビリティ学 ※		サステイナビリティ学 ※
兼任	教授	松田 健二 <令和6年4月> 博士(工学)	その他 教授	松田 健二 <令和6年4月> 博士(工学)
		技術と社会		技術と社会
		宮 一志 <令和6年4月> 博士(医学)		宮 一志 <令和6年4月> 博士(医学)
		障害とアクセシビリティ		障害とアクセシビリティ

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	教員区分	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼担	教授	ヨフコバ四位 エレオノラ <令和6年4月> 博士(学術) 異文化間コミュニケーション 日本語リテラシー I 日本語リテラシー II 日本語／専門研究	その他	教授	ヨフコバ四位 エレオノラ <令和6年4月> 博士(学術) 異文化間コミュニケーション 日本語リテラシー I 日本語／専門研究
兼担	教授	和田 直也 <令和6年4月> 博士(環境科学) 日本海学 サステイナビリティ学 ※	その他	教授	和田 直也 <令和6年4月> 博士(環境科学) 日本海学 サステイナビリティ学 ※
兼担	教授	渡邊 了 <令和6年4月> 理学博士 全学横断PBL	その他	教授	渡邊 了 <令和6年4月> 理学博士 全学横断PBL
			その他	教授	伊藤 智樹 <令和6年4月> 博士(社会学) 現代社会論
			その他	教授	安藤 由香里 <令和6年4月> 博士(国際公共政策) 日本国憲法
			その他	教授	菊池 万里 <令和6年4月> 博士(情報科学) 自然科学への扉—C
			その他	教授	片桐 崇史 <令和6年4月> 博士(工学) 科学技術への扉—B
			その他	教授	高村 昭輝 <令和6年4月> 博士(医学) 医療と地域社会
兼担	准教授	阿部 美規 <令和6年4月> 修士(言語・文化学) ドイツ語基礎 I ドイツ語基礎 II ドイツ語コミュニケーション I	その他	准教授	阿部 美規 <令和6年4月> 修士(言語・文化学) ドイツ語基礎 I ドイツ語基礎 II ドイツ語コミュニケーション I

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	教員区分	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼担	准教授	池田 丈佑 <令和6年4月> 博士(国際公共政策)			
		現代文化 平和学入門			
		池田 真治 <令和6年4月> 博士(文学)			池田 真治 <令和6年4月> 博士(文学)
兼担	准教授	哲学のすすめ			哲学のすすめ
		猪井 博登 <令和6年4月> 博士(工学)			猪井 博登 <令和6年4月> 博士(工学)
		全学横断PBL			全学横断PBL
兼担	准教授	入江 幸二 <令和6年4月> 博士(文学)			入江 幸二 <令和6年4月> 博士(文学)
		富山大学学			富山大学学
		上木 佐季子 <令和6年4月> 教育学修士			上木 佐季子 <令和6年4月> 教育学修士
兼担	准教授	情報処理			情報処理
		榎本 勝成 <令和6年4月> 博士(理学)			榎本 勝成 <令和6年4月> 博士(理学)
		サステイナビリティ学 ※			サステイナビリティ学 ※
兼担	准教授	沖野 浩二 <令和6年4月> 修士(工学)			沖野 浩二 <令和6年4月> 修士(工学)
		情報処理			情報処理
		応用情報処理			応用情報処理
兼担	准教授	小田(大嶋) 夕香理 <令和6年4月> Degree of Doctor in Philosophy (英国)			小田(大嶋) 夕香理 <令和6年4月> Degree of Doctor in Philosophy (英国)
		外国文学			外国文学
		ESP II (Interest-based)			ESP II (Interest-based)
兼担	准教授	尾山 真 <令和6年4月> 修士(経営学)			
		地域ライフプラン			

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	柏木 健司 <令和6年4月> 博士(理学)
		デザインと生物
		片桐 達雄 <令和6年4月> 医学博士
兼担	准教授	免疫学入門
		木村 巍 <令和6年4月> 博士(理学)
		文理融合データサイエンス ※
兼担	准教授	杉森 保 <令和6年4月> 博士(理学)
		自然科学への扉—B SDGs入門
		鈴木 晃志郎 <令和6年4月> 博士(理学)
兼担	准教授	地域の経済と社会・文化
		高松 衛 <令和6年4月> 博士(工学)
		科学技術への扉—B
兼担	准教授	高柳(中塚) 百合子 <令和6年4月> 博士(工学)
		全学横断PBL
		立石 良 <令和6年4月> 博士(理学)
兼担	准教授	全学横断PBL
		田中 信之 <令和6年4月> 博士(学術)
		日本語コミュニケーション I 日本語コミュニケーション II
その他	准教授	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		柏木 健司 <令和6年4月> 博士(理学)
その他	准教授	デザインと生物
		片桐 達雄 <令和6年4月> 医学博士
		免疫学入門
その他	准教授	木村 巍 <令和6年4月> 博士(理学)
		文理融合データサイエンス ※
		杉森 保 <令和6年4月> 博士(理学)
その他	准教授	自然科学への扉—B SDGs入門
		鈴木 晃志郎 <令和6年4月> 博士(理学)
		地域の経済と社会・文化
その他	准教授	高柳(中塚) 百合子 <令和6年4月> 博士(工学)
		全学横断PBL
		立石 良 <令和6年4月> 博士(理学)
その他	准教授	全学横断PBL
		田中 信之 <令和6年4月> 博士(学術)
		日本語コミュニケーション I 日本語コミュニケーション II

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	谷口 美樹 <令和6年4月> 博士(文学)
		日本の歴史と社会 治療の文化史
		坪見 博之 <令和6年4月> 博士(文学)
兼任	准教授	坪見 博之 <令和6年4月> 博士(文学)
		こころの科学
		出口 英生 <令和6年4月> 博士(理学)
兼任	准教授	出口 英生 <令和6年4月> 博士(理学)
		自然科学への扉ーC
		野澤 豊一 <令和6年4月> 博士(社会環境科学)
兼任	准教授	野澤 豊一 <令和6年4月> 博士(社会環境科学)
		言語と文化
		萩野 紀一郎 <令和6年4月> 博士(工学)
兼任	准教授	萩野 紀一郎 <令和6年4月> 博士(工学)
		美術
		橋爪 隆 <令和6年4月> 博士(工学)
兼任	准教授	橋爪 隆 <令和6年4月> 博士(工学)
		全学横断PBL
		畠田 圭介 <令和6年4月> 博士(理学)
兼任	准教授	畠田 圭介 <令和6年4月> 博士(理学)
		自然科学への扉ーA
		林 夏生 <令和6年4月> 修士(学術)
兼任	准教授	林 夏生 <令和6年4月> 修士(学術)
		人権と福祉
		福田 翔 <令和6年4月> 博士(学術)
兼任	准教授	福田 翔 <令和6年4月> 博士(学術)
		中国語基礎 I
		中国語基礎 II
		発展多言語演習中国語

教員区分	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	准教授	谷口 美樹 <令和6年4月> 博士(文学)
		日本の歴史と社会 治療の文化史
		坪見 博之 <令和6年4月> 博士(文学)
その他	准教授	坪見 博之 <令和6年4月> 博士(文学)
		こころの科学
		野澤 豊一 <令和6年4月> 博士(社会環境科学)
その他	准教授	野澤 豊一 <令和6年4月> 博士(社会環境科学)
		言語と文化
		萩野 紀一郎 <令和6年4月> 博士(工学)
その他	准教授	萩野 紀一郎 <令和6年4月> 博士(工学)
		美術
		橋爪 隆 <令和6年4月> 博士(工学)
その他	准教授	橋爪 隆 <令和6年4月> 博士(工学)
		科学技術への扉ーA
		全学横断PBL
その他	准教授	畠田 圭介 <令和6年4月> 博士(理学)
		自然科学への扉ーA
		林 夏生 <令和6年4月> 修士(学術)
その他	准教授	林 夏生 <令和6年4月> 修士(学術)
		人権と福祉
		福田 翔 <令和6年4月> 博士(学術)
その他	准教授	福田 翔 <令和6年4月> 博士(学術)
		中国語基礎 I
		中国語基礎 II
		発展多言語演習中国語

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	教員区分	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	藤本 孝子 <令和6年4月> 博士(医学) 科学技術への扉ーA			
		水野 真理子 <令和6年4月> 博士(人間・環境学)			水野 真理子 <令和6年4月> 博士(人間・環境学)
		基盤英語 I 基盤英語 II			ESP I (Level-based) 基盤英語 I 基盤英語 II
兼任	准教授	宮武 滉太 <令和6年4月> 博士(理学)	その他	准教授	宮武 滉太 <令和6年4月> 博士(理学)
		環境と安全管理			環境 環境と安全管理
		MULLER THERON JAMES <令和6年4月> PhD in Applied Linguistics(米国) ESP I (Level-based) ESP II (Interest-based)			
兼任	准教授	若山 育代 <令和6年4月> 博士(教育学)			
		現代と教育			
		和田 とも美 <令和6年4月> 博士(文学)			和田 とも美 <令和6年4月> 博士(文学)
兼任	准教授	朝鮮語基礎 I 朝鮮語基礎 II 朝鮮語コミュニケーション I 朝鮮語コミュニケーション II	その他	准教授	朝鮮語基礎 I 朝鮮語基礎 II 朝鮮語コミュニケーション I 朝鮮語コミュニケーション II
		渡邊 雅志 <令和6年4月> 修士(芸術工学)			渡邊 雅志 <令和6年4月> 修士(芸術工学)
		美術表現B 感性をはぐくむ			美術表現B 感性をはぐくむ
			その他	准教授	岡田 了祐 <令和6年4月> 博士(教育学)
					現代と教育

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	教員区分	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
					田山 孝
			その他 準教授		<令和6年4月> 博士(理学) <u>自然科学への扉ーA</u>
			その他 準教授		山崎 裕治 <令和6年4月> 博士(水産学) <u>生命の世界</u>
			その他 準教授		野田 秀孝 <令和6年4月> 修士(福祉マネジメント) <u>人権と福祉</u>
			その他 準教授		萩原 英久 <令和6年4月> 博士(工学) <u>科学と社会</u>
兼担	講師	大橋 隼人 <令和6年4月> 博士(理学)	その他 講師		大橋 隼人 <令和6年4月> 博士(理学)
兼担	講師	情報処理			情報処理
兼担	講師	木村 元 <令和6年4月> 博士(理学)			
		現代社会論 環境 とやま地域学			
兼担	講師	笹山 啓 <令和6年4月> 博士(学術)	その他 講師		笹山 啓 <令和6年4月> 博士(学術)
					<u>現代文化</u> <u>平和学入門</u>
		ロシア語基礎 I ロシア語基礎 II ロシア語コミュニケーション I ロシア語コミュニケーション II			ロシア語基礎 I ロシア語基礎 II ロシア語コミュニケーション I ロシア語コミュニケーション II
兼担	講師	佐山 三千雄 <令和6年4月> 薬学博士	その他 講師		佐山 三千雄 <令和6年4月> 薬学博士
		言語表現			言語表現

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	教員区分	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼担	講師	塩見 一三男 <令和6年4月> 博士(工学)	その他	講師	塩見 一三男 <令和6年4月> 博士(工学)
		産業観光学 富山のものづくり概論			産業観光学 富山のものづくり概論
		遠山 和大 <令和6年4月> 博士(理学)			遠山 和大 <令和6年4月> 博士(理学)
兼担	講師	情報処理	その他	講師	情報処理
		林 美希 <令和6年4月> 博士(文学)			林 美希 <令和6年4月> 博士(文学)
		東洋の歴史と社会			東洋の歴史と社会
兼担	講師	松村 浩之 <令和6年4月> 博士(芸術)	その他	准教授	松村 浩之 <令和6年4月> 博士(芸術)
		美術表現A			美術表現A
		山本 将之 <令和6年4月> 博士(農学)			
兼担	講師	生命の世界	その他	講師	
		横山 初 <令和6年4月> 博士(工学)			横山 初 <令和6年4月> 博士(工学)
		サステイナビリティ学 ※			サステイナビリティ学 ※
兼任	助教	堀田 耕平 <令和6年4月> 博士(理学)	その他	助教	堀田 耕平 <令和6年4月> 博士(理学)
		全学横断PBL			全学横断PBL
		艾 玉霞 <令和6年4月> 修士(文学)			艾 玉霞 <令和6年4月> 修士(文学)
兼任	講師	中国語コミュニケーション I 中国語コミュニケーション II	その他	講師	中国語コミュニケーション I 中国語コミュニケーション II
		井戸 啓介 <令和6年4月> 博士(人間・環境学)			井戸 啓介 <令和6年4月> 博士(人間・環境学)
		認知科学			認知科学

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	奥寺 敬 <令和6年4月> 博士(医学)
		災害救援ボランティア論
		新谷 秀夫 <令和6年4月> 文学修士
兼任	講師	万葉学
		水田 佳歩 <令和6年4月> 博士(日本語教育学)
		異文化理解

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	奥寺 敬 <令和6年4月> 博士(医学)
		災害救援ボランティア論
		新谷 秀夫 <令和6年4月> 文学修士
		万葉学
その他	講師	水田 佳歩 <令和6年4月> 博士(日本語教育学)
		異文化理解
		他大学等 (短大、外国大学含む) <令和6年4月>
		とやま地域学
その他	講師	永山 香織 <令和6年4月>
		日本語リテラシーⅡ

(1) -②担当教員表に関する変更内容

【令和6年度】

- ・令和6年度より改正後大学設置基準（令和4年10月1日施行）を適用。
- ・担当科目の見直しにより、青木 一益、岩内 秀徳、上東 正和、王 大鵬、岸本 壽生、香川 崇、垣田 直樹、唐渡 広志、中村 真由美、小柳津 英知、神山 智美、坂田 博美、柳原 佐智子、竹地 潔、鳥羽 達郎、橋口 賢一、本間 哲志、馬 駿、松井 隆幸、モヴシュク オレクサンダー、森口 毅彦、両角 良子、横山 一憲、龍 世祥、井坂 友紀、石田 真、伊藤 嘉規、大坂 洋、森嶋 秀紀、櫻田 貴道、辻本 淳史、廣橋 祥、松山 淳、眞部 典久、八百 草嘉、矢島 桂、山田 潤司、若林 文靖、古賀 さゆり、本山 卓実、山崎 竜弥、XIE DI、ZHAI WEIYANG、日隈 美朱、鈴木 敬史、ヨコバ四位 エレオノラ、小田 夕香理、橋爪 隆、水野 真理子、宮武 滉太、笹山 啓の担当授業科目を変更。
- ・伊藤 智樹、安藤 由香里、菊池 万里、片桐 崇史、高村 昭輝、岡田 了祐、田山 孝、山崎 裕治、野田 秀孝、萩原 英久、永山 香織を担当教員に追加。
- ・阿部 孝之、谷井 一郎、池田 丈佑、尾山 真、高松 衛、出口 英生、畠田 圭介、林 夏生、藤本 孝子、MULLER THERON JAMES、若山 育代、木村 元、山本 将之を担当教員から取り消し。
- ・昇任により、松村 浩之の職位を准教授に変更。
- ・採用により、内藤 規海、今井 雄一、松本 知己、山本 真人を担当教員に追加。
- ・退職により、平野 真由、岩本 学を担当教員から取り消し。

（注）・変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

- ・**認可で設置された学部等の基幹（専任）教員を変更する場合は**、当該基幹（専任）教員が授業を開始する前に必ず「基幹（専任）教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（A C教員審査）を受けてください。

原則としてA C教員審査を受けずに基幹（専任）教員として授業等を担当することは出来ません。

- ・なお、改正前大学設置基準等に基づいて認可を受けて設置された学部等が、改正後大学設置基準等への適用のため、大学が基幹教員の要件を満たすと判断した「専任教員」を「基幹教員」とする場合は、A C教員審査を受審する必要はない扱いとしています。（改正後大学設置基準等の適用にあたり、「基幹教員」の担当授業科目を追加する場合、「基幹教員」の担当授業科目の内容を変更するなど、A C教員審査の受審を求めていた事由が発生する場合は、A C教員審査を受審する必要があります。）
- ・A C教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- ・なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・不要な年度（令和5年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 基幹教員数等

- (注) 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十一条第二項（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の基幹教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要基幹教員数」及び「(2)-② 基幹教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要基幹教員数

完成年度時における設置基準上の必要基幹教員数 (α)	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	うち、完成年度時における設置基準上の専ら当該学部等の教員研究に従事する必要基幹教員数 (α) の4分の3以上
19 名	10 名	15 名

(注) 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第九項により算出される基幹教員数を記入してください。

- ・高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 基幹教員等数【大学・高専】

設置時の計画							現在（報告時）の状況						
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）(A')	助 手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）(B')	助 手 (B')
21	15	3	4	43	—	0	25	14	4	7	50	50	0
(26)	(15)	(3)	(4)	(48)	—	(0)							
現在（報告時）の完成年度時の状況							現在（報告時）の完成年度時の計画						
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）(C')	助 手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）(D')	助 手 (D')
19	14	4	7	44	44	0	20	14	4	13	51	51	0
[−2]	[−1]	[1]	[3]	[1]	[1]	[0]	[−1]	[−1]	[1]	[9]	[8]	[8]	[0]

(注) 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。

高等専門学校の場合、「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）」欄は、

「うち専ら当該高等専門学校の教育研究に従事する者（「基一」及び「基專」の計）」として記入してください。

なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準（令和4年10月1日施行前）に基づき、対象学部等を設置している場合、

「設置時の計画」欄は「設置時の計画（改正前大学設置基準等）」とした上で、「専任教員」及び「助手」の人数を記入してください。

また、「計 (A)」の「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）(A')」欄には「−」を記入してください。

- ・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

・「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、

数量検査を要審査であり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、

「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を記入するとともに、

[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、

[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(C)）の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、

及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、

「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) 一④ 設置時の計画に対する教員充足率

【基幹教員全体】

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{44}{43} = \boxed{102.32} \%$$

【基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者】

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C'')}}{\text{設置時の計画(A'')}} = \frac{44}{-} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) 一⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{0}{50} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) 一⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 基幹（専任）教員辞任等の理由

(3) 一① 基幹（専任）教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由		
1	教授	平野 真由	R6. 3	選択	スタートアップゼミナール	①	R6. 3. 31付け自己都合退職のため辞任(6)		
				選択	初年次ゼミナール	①			
				必修	2年次ゼミナール-I	①			
				必修	2年次ゼミナール-II	①			
				必修	3年次ゼミナール-I	①			
				必修	3年次ゼミナール-II	①			
				必修	4年次ゼミナール-I	①			
				必修	4年次ゼミナール-II	①			
				必修	卒業論文	①			
				必修	法学入門	①			
				選択	金融取引法 - A	③			
				選択	金融取引法 - B	③			
				選択	経済・経営と法-A	③			
				選択	経済・経営と法-B	③			
2	准教授	岩本 学	R5. 8	選択	スタートアップゼミナール	①	R5. 8. 31付け自己都合退職のため辞任(6)		
				選択	初年次ゼミナール	①			
				必修	2年次ゼミナール-I	①			
				必修	2年次ゼミナール-II	①			
				必修	3年次ゼミナール-I	①			
				必修	3年次ゼミナール-II	①			
				必修	4年次ゼミナール-I	①			
				必修	4年次ゼミナール-II	①			
				必修	卒業論文	①			
				選択	民事訴訟法-A	③			
				選択	民事訴訟法-B	③			
				選択	民事執行法	③			
				選択	国際私法	③			
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)					
就任を辞退した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
2 人	必修	15 科目	必修	15 科目	必修	0 科目	必修 0 科目		
	選択	12 科目	選択	4 科目	選択	0 科目	選択 8 科目		
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由 0 科目		
	計	27 科目	計	19 科目	計	0 科目	計 8 科目		

(注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての基幹（専任）教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。

・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定しながら、実際には就任しなかった教員のことです。

就任した後に辞任した教員は、以下「(3) 一②基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。

・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹（専任）教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、

「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。

・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、

「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし					
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)	
0 人		必修 0 科目		必修 0 科目		必修 0 科目	
		選択 0 科目		選択 0 科目		選択 0 科目	
		自由 0 科目		自由 0 科目		自由 0 科目	
		計 0 科目		計 0 科目		計 0 科目	

- (注) • 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての基幹（専任）教員**について、記入してください。
 (学年進行中に基幹教員の要件を満たさなくなったことにより、基幹教員でなくなった教員についても記入してください。)
 • 昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「**辞任等の理由**」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 • また、担当予定であった科目的後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「**後任補充理由**」の欄にその数字を記載してください。

- 基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
- 基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
- 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記 (3) -① • (3) -② の合計

合計 (D) + (F)		後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
2 人		必修 15 科目		必修 15 科目		必修 0 科目	
		選択 12 科目		選択 4 科目		選択 0 科目	
		自由 0 科目		自由 0 科目		自由 0 科目	
		計 27 科目		計 19 科目		計 0 科目	

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③\text{合計}(D)+(F)}{(2)-②\text{設置時の計画}(A)} = \frac{2}{43} = 4.65\%$$

- (注) • 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和5年度報告書から、新たに辞任等した基幹（専任）教員等の状況

2 人

- (注) • (3) -①、(3) -②で赤字で記載した基幹（専任）教員数の合計数を記載してください。
 • **令和6年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。**

(3) 一⑥ 定年により退職した基幹（専任）教員に対する後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし							
合計				後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
0 人		必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	

- (注)
 - 定年により退職した全ての基幹（専任）教員について、記入してください。
 - 昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - また、担当予定であった科目的後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- 基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
- 基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
- 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 基幹（専任）教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

退職教員の担当予定だった必修科目は、複数の基幹（専任）教員で担当することになっていたため、担当教員不在となる状況ではない。また、選択科目については、令和6年度には開講がないため今年度特に影響はない。来年度開講する科目については、早急に後任を補充する予定である。

- (注)
 - 上記（3）の基幹（専任）教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
	該当なし		

- (注)
 - ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
 - ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。

【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)(5)」と記載してください。

【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。

その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。

- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<経済学部 経済経営学科>

(1) 設置計画変更事項等

該当なし

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

経済学部 FD委員会

【富山大学経済学部 FD委員会内規（抜粋）】

（設置）

第1条 富山大学経済学部（以下「本学部」という。）に、本学部における教育内容及び方法の改善（ファカルティ・ディベロップメント（以下「FD」という。））を図るため、FD委員会（以下「委員会」という。）を置く。

（所掌事項）

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項を所掌する。

- (1) 教育方法の改善に関すること。
- (2) 教育内容と教育施設の改善に関すること。
- (3) 教育に関する講演会、研究会の開催の企画とその実施に関すること。
- (4) その他教育の改善に関すること。

（組織）

第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 学部長
- (2) 学部から選出された教員 6人
- (3) その他委員長が適任と認めた者

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

令和6年4月25日 開催（構成員 7名出席）

c 委員会の審議事項等

FD活動について

授業評価アンケートについて

② 実施状況

a 実施内容

- ・学生指導に関する研修会等の実施を検討

b 実施方法

- ・授業のない時間帯に経済学部教職員向け FD研修会を開催し、講演や討議を行う。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・テーマを決めて年に数回開催する予定

- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
 - ・FD委員会委員を中心に検討する予定
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
 - a 実施の有無及び実施時期
 - ・各学期の期末試験前に実施予定
 - b 教員や学生への公開状況、方法等
 - ・教員に対し、担当科目の結果をフィードバックする予定
 - ・アンケート集計結果については、本学ウェブサイトにおいて公表予定

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

学部改組を行った令和6年度、入学定員335名に対し339名が入学した。入試においては、志願者数1,163名に対し合格者数は377名と、倍率は3.08倍となり十分な競争環境を得た。
設置の趣旨・目的に沿った教育体制の整備等は順調に実施されており、更なる充実を図っていきたい。

② 自己点検・評価報告書

- a 公表（予定）時期
 - ・令和5年度の自己点検・評価については、令和6年に実施し、令和6年11月に公表予定
- b 公表方法
 - ・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

- ・令和6年度に認証評価機関による機関別認証評価を受審予定

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に關わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

- 設置計画履行状況報告書（令和6年度）

a 公表予定の有無 [有 無]

« a で「有」の場合»

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 · 公表後2~3ヶ月以内 · 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 · その他 ()]

« a で公表「無」の場合»

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。